

科 類
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (75)	30%	『鉄緑会 東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を毎日6章演習する習慣を継続していました。(これは2月26日まで欠かしませんでした。)東大の過去問を大問ごとに演習していました。	30%	東大の過去問の大問別の演習を続けていました。1日に特定の大問を4問ほど解いていました。	25%	過去問を大問別に演習し続けた結果、大問ごとにばらばらに25年分の過去問を早々に解き終えてしまいました。そのため、早稲田大学の25か年の過去問を購入し、解いていました。	25%	センター試験の過去問の文法問題の部分のみ演習していました。二次試験対策として、東大模試の過去問題集を使って演習しました。	20%	アクセント問題が苦手だったので、インターネットを参照してアクセントの原則を調べ、ひたすら暗記しました。二次試験対策として、東大模試の過去問題集も引き続き解いていました。	30%	東大模試の過去問題集の演習をひたすら行いました。また『東大英語リスニング』(鉄緑会英語科)をこの時期に購入し、1日に1題のペースで演習しました。	30%	120分正確に計って演習することを意識して演習しました。1日に2セットの演習をすることもありました。
国語 (68)	10%	古文は『必修古文単語735』(三省堂)で単語をおさえて、あとは過去問を解いていました。漢文は『最強の漢文』(Z会出版)で句形を暗記していました。	10%	春期集中講座や前期集中講座で扱った、林修先生の授業の現代文の過去問を復習していました。古文と漢文は10月と同様に学習していました。	15%	センター試験の国語の過去問を1日に大問2つのペースで演習しました。そのほかは、東大の古文・漢文の過去問を1日2題ほど演習していました。	15%	センター試験の国語を25年分解き終わられるか怪しいペースだったので、1週間に一度は多くの大問を解く日を設定しました。(多い日は一日に8題ほど)	20%	センター試験の国語を1年分ずつセットで解くことをはじめました。意外と時間が厳しいので、80分の演習は必ず行うべきだと思います。	10%	東大模試の過去問題集の古文と漢文をたくさん演習しました。(1日に古文2つ漢文2つを目安)	10%	150分の時間を計って東大型模試を解いていました。そのほかは、基本的な古文単語の見直し、句形の確認、林修先生の東大現代文の授業の復習を行っていました。
数学 (49)	30%	基礎の確認と東大の過去問の演習を同時並行で行っていました。基礎の確認は『スタンダード数学演習 I A II B』(数研出版)で、東大の過去問は『東大の文系数学25か年』(教学社)で演習していました。	30%	一通り東大の過去問の演習を終えましたが、まだ実力が完成していないと感じたので、『東大数学で1点でも多くとる方法(文系編)』(東京出版)を購入しテーマ別に演習しました。大体1日に2題のペースで演習しました。	30%	『東大数学で1点でも多くとる方法(文系編)』(東京出版)を用いて引き続き復習をしていました。まだセンター試験対策はしていませんでした。	25%	センター試験の数学の演習を始めました。過去問ではなく、学校で配布されたセンター試験型問題集を使っての演習でした。1日に I Aもしくは II Bを1セット使いました。	15%	ほぼセンター試験の数学だけを勉強していました。1日に I A、II Bそれぞれを1セットずつ演習しました。	20%	東大模試の過去問題集の数学をたくさん演習しました。(1日に1セットを目安)また、わからなかった問題で、かつ完答すべきだった、と思われる問題についてはスクラップブックにまとめました。	20%	少し余裕をもって本番を迎えるために、80分で東大型の数学の問題演習を行いました。またセンター試験明けの1月と同様に、解けなかった問題の中で、かつ完答すべきだった問題はスクラップブックにまとめました。
地理 (36)	10%	学校の演習の授業が比較的充実していたので、それをメインに学習し、新出事項を『地理の研究』(帝国書院)で確認しました。	10%	学校での東大・京大の過去問の演習を中心にしながら、『地理の研究』(帝国書院)で新出分野の確認、という勉強法を続けていました。	15%	本格的に過去問に取り組むには、まだ実力が足りないと思ったので、学校の授業以外ではまた過去問には手を出しませんでした。センター試験の過去問を一週間に2年分ほど演習しました。	20%	センター試験の過去問を1日に1セット演習しました。この時期は二次試験対策はほぼしていませんでした。	25%	センター試験の過去問を25年分終えたので、『マーク式総合問題集地理B 2016』(河合出版)を購入し、1日に1セット演習しました。	20%	二次試験の過去問を解き、解説で有用だと思ったフレーズをスクラップブックにまとめていました。	20%	地理のみで70分で解く練習を行いました。またセンター試験明けの時期と同様、解説の有用な箇所をスクラップブックにまとめました。
世界史 (40)	20%	『世界史B』(実教出版)の教科書を読み込んでいました。また、一問一答を毎日30ページほど演習していました。	20%	10月の学習と基本的には同様に学習していました。時折、荒巻豊志先生の東大特進のテキストの復習をしていました。	15%	センター試験の世界史の過去問を一気に解きました。そして、間違った問題を一問一答風に書き換えて一問一答問題集に書き足していました。	15%	荒巻豊志先生の授業の復習、教科書の読み込みを行った後、それに対応する箇所の過去問を解いていました。	20%	センター試験型問題集を5回分演習したところ、全て94点～100点の間に収まったので、二次試験対策をしていました。第2問を中心に演習しました。	20%	荒巻豊志先生の東大特進の授業・自身での過去問演習の中で、まだ解いていない過去問を解いていきました。(第1問は自分で解いても、良い答案は書けないのであまり時間はかけませんでした。)	20%	東大模試の過去問題集を使用し、第二問、第三問の演習を続けました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	4 : 6	【センター：二次】	7 : 3
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
文科一類

二次 科目	5科目に 対する学習 割合	10月	5科目に 対する学習 割合	11月	5科目に 対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に 対 する 学 習 割 合	12月 (冬休み)	5科目 に 対 する 学 習 割 合	1月 (センター試験前)	5科目 に 対 する 学 習 割 合	1月 (センター試験後)	5科目 に 対 する 学 習 割 合	2月
英語 (75)	20%	秋以降は英語に時間を割きなくなかった。夏休みにある程度仕上げました。週一回のテストゼミと単語帳で英語に触れ、余裕がある時に『東大の英語25カ年』(教学社)の古い年から第5問を消化していきました。(要約、文法の過去問は直近10年分を残して夏休みに消化しました。)リスニングが苦手だったので、通学時間に『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)の音声聞いていました。	20%	基本的に先月と同様です。東大の過去問の第5問を直近10年分を残して消化した頃、『東大の過去問25カ年』(教学社)の和訳の過去問を始めました。	20%	基本的に先月と同様です。自由英作文の出来が悪くなってきたように感じたので、高校一年生の時に使っていた『頻出英作文』(桐原書店)を復習していました。	25%	センター試験の英語の対策はせず、時間を意識した二次試験対策を重点的に行いました。東大模試の復習、残しておいた直近10年分の東大の過去問をセットで時間を計って消化しました。また、今までに使ってきた単語帳の復習を開始しました。長期休暇ごと復習していた、文法の参考書を再度復習しました。	25%	先月と基本的に同様です。	20%	先月と基本的に同様ですが、リスニングに力を入れ始めました。具体的には、『キムタツの東大英語リスニングSUPER』(アルク)を進め、復習としてシャドーイングをしていました。	20%	先月と基本的に同様です。
国語 (67)	(ほぼ)0%	夏休みに古文、漢文の文法事項は復習していたので、古文・漢文は学校の授業を聞くのみでした。現代文に関しては、二週間に一度、東大特進の林修先生の授業で扱った問題の復習をしていました。	(ほぼ)0%	基本的に先月と同様です。学校で現代文、古文、漢文のセンター試験の過去問を使った演習が始まったので、家で過去問を解く時間は設けていませんでした。『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)を始めました。	(ほぼ)0%	基本的に先月と同様です。	10%	一旦二次試験対策をやめ、学校で扱わなかったセンター試験の過去問を時間を計って解いていきました。	10%	基本的に先月と同様です。	10%	東大特進の林修先生の授業で扱った過去問をいくつか抽出して復習しました。	10%	古文、漢文の過去問を『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)を使って復習しました。その際、解説を読み込み、知らなかった古文常識、漢文常識は積極的にノートに保存していました。
数学 (68)	20%	苦手だったので、1日に1時間半は数学に触れることを心がけていました。基本的には夏休み中に解いた問題の復習をしていました。	20%	基本的に先月と同様です。	20%	基本的に先月と同様ですが、センター試験のⅡBが苦手だったので、センター試験用の問題集もたまに解いていました。『東大の文系数学25カ年』(教学社)の解法がわかりづらかったため、解説の詳しい『鉄緑会東大数学問題集』(角川学芸出版)を使い始めました。	15%	基本的に先月と同様です。	15%	一旦、東大の過去問演習、二次試験対策をやめ、センター試験の過去問を時間を計って解いていました。(個人的にはこの時期の勉強として、センター試験の過去問の演習よりも、青チャートなど基本的な問題集の復習をすべきだったと思っています。)	20%	センター試験のⅡBで60点を叩き出してしまい、失敗の原因を振り返ったところ、基本をおろそかにしていたことに気づきました。『東大の過去問25カ年』(教学社)を分野別に解き直しながら、青チャートに戻って基本が曖昧になっていた分野(微分など)を総復習しました。	20%	基本的に先月と同様です。難しい問題も演習しながら、基本を復習するうちに、初見の問題にも対応できるようになりました。
日本史 (40)	30%	苦手だったので、『日本史ノート』(山川出版社)を何周もし、それでも覚えられない分をカバーするために論述の対策も兼ねて、『実力をつける日本史100題』(Z会出版)を進めました。『詳説日本史B』(山川出版社)『大日本史』を並行して読んでいました。(過去問は9月から古い年を時代ごとに解き始めました。)	30%	本格的に取り組み始めた東大の過去問の出来があまりにも悪かったので、教科書の読み込みを念入りに行い、論述に使えるような表現、知識は積極的にノートに書き込み保存していました。論述対策のための参考書も読み込みました。	30%	基本的に先月と同様です。	30%	センター試験の過去問を解き始めたところ、80点台になかなか到達しなかったため、二次試験対策は中断しました。センター試験対策の問題集と並行しながら、ひたすらセンター試験の過去問を解いていました。	30%	一旦二次試験対策をやめ、センター試験対策のみ行っていました。	30%	模試の復習をしなが、東大の過去問の直近10年分を時代ごと(古代、中世、近世、近代)に解き直しました。	25%	先月と基本的に同様です。過去問を解き終わってからは、『東大日本史問題演習』(東進ブックス)を使って本番を想定しながら演習していました。
世界史 (41)	30%	『詳説世界史B』(山川出版)を読み込みながら、1日1章ずつ、一問一答をこなしました。世界史も苦手で覚えられていなかったため、『実力をつける世界史100題』(Z会出版)も進めていきました。(過去問は9月から第2問、第3問を古い年から解き始めました。)	30%	世界史も論述の出来が芳しくなかったため、『世界史B』(東京書籍)を読み込み始めました。論述に使えるような表現、知識は積極的にノートに書き込み保存していました。10月同様、一問一答もこなしていました。	30%	基本的に先月と同様です。	20%	東大の過去問演習をしなが、センター試験の過去問を解き始めました。この時期も教科書の読み込みを忘れませんでした。また、知識の整理のために『各国別世界史ノート』(山川出版)を始めました。	20%	一旦二次試験対策をやめ、センター試験対策のみ行っていました。具体的には、センター試験の過去問で正解していた問題も、図表や教科書に戻って知識の確認を直していました。この時期になってようやく、世界史の全体像が頭に入った実感を得ることができました。	20%	過去問の第1問を本格的に解き始めました。(11月あたりから進め始めていました。)春頃に読んでいた『荒巻の新世界史の見取り図』(東進ブックス)を読み直し、流れを再確認していました。	25%	先月に終わらなかった過去問の第1問を解き、第2問第3問の復習をしました。『世界史B』(東京書籍)を念入りに読み、試験で問われそうな記述には下線を引いていました。(本番で出た箇所があったので、やって良かったと思います)

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	3 : 7	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類  
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (91)	30%	塾で東大型演習をこなしつつけました。東大英語対策はやはり本番と同レベルの模試等を用いた演習が有効です。量をこなす中で、解答作成能力やスピードの向上が見込めるでしょう。	20%	10月同様演習を積みましたが、この時期から量を減らし地歴の演習に時間を割きました。	20%	11月同様演習を積みましたが、1日1セット程度にとどめるようにしました。	20%	センター試験ボケを予防するため、センター試験直前になっても1日1セットは演習を積みました。	5%	直前一週間は他教科のセンター試験対策に重点を置き、英語は何もしませんでした。	20%	東大型演習を再開すると共に、リスニング力不足を実感したので1日1時間半ほどリスニングを行いました。リスニングは日々の積み重ねが大事だというのが通説ですが、案外直前期の詰め込みが有効な分野でもあると思います。	20%	ひたすら演習をしました。最後は演習量勝負です。これまでに築き上げた方向性を信じて演習し続けましょう。
国語 (74)	20%	現代文は東大特進の林修先生の授業の復習を、古典はセンター試験で余裕を持って満点を取れるよう基礎知識の確認を行いました。	15%	現代文は10月同様に学習を進め、古典は東大の過去問の演習を開始しました。東大の古典ではセンター試験で満点を取れるレベルの知識があれば、知識面で不足することはないと思います。	15%	冬休み開始までは11月同様の学習を行いました。	15%	冬休みからセンター試験までの期間はセンター試験の過去問演習に集中しました。東大の国語とセンター試験では基本的にコンセプトが共通しているので、二次試験前の基礎の最終確認としても有効でした。	35%	冬休みからセンター試験までの期間はセンター試験の過去問演習に集中しました。東大の国語とセンター試験では基本的にコンセプトが共通しているので、二次試験前の基礎の最終確認としても有効でした。	15%	センター試験ボケを取り戻すため、東大形式の演習を行いました。その際、『漆原慎太郎の古文記述問題が面白いほど解けるスペシャルレクチャー(中経出版)』が古文の方法論確立に大変役立ちました。	15%	これまでに解いた二次試験の過去問の復習を行いました。また、東大特進の直前テストゼミも最終確認にとても有効でした。
数学 (70)	20%	『大学への数学』(東京出版)を購読して、東大の本番レベルの問題を多く解き続けました。	15%	10月と同様です。	15%	このころから『東大数学で一点でも多く取る方法』(東京出版)を用いて過去問演習に励みました。	15%	ひたすら東大の過去問を消化しました。これまで溜めていたこともあって結構苦しみました。数学に自信がある人はもっと早く過去問演習を始めて良いと思います。	20%	センター試験形式の練習を3回ほどしました。数学に自信があったのであまり時間をかけませんでした。	20%	過去問を一通り消化し切り、解けなかった問題のみに絞って2周目をしました。	20%	これまでの模試と過去問を総復習しました。本番では、これまでに出会った問題と同じタイプのも物だけでも解き切ることが出来れば、確実に数学で差をつけることが出来ます。
世界史 (42)	15%	第1問対策は荒巻豊志先生の東大世界史の授業に任せ、自習の際には第2問・第3問対策に集中するという分け方を行っていました。第2問・第3問対策には『世界史B』(東京書籍)を用いていました。	25%	10月同様の方針で、秋の東大実戦模試・東大オープン模試に向けて知識確認を続けました。	25%	ひたすら教科書を読みました。東京書籍、山川書店、帝国書院の計3冊の教科書を読み比べるなどしていました。	25%	知識確認を十分こなしていたこともあり、世界史は特別センター試験対策を行う必要性がありませんでした。	20%	文化史、現代史などの穴を重点的に対策しました。	20%	第1問の勘を取り戻すために荒巻豊志先生の東大世界史の授業の復習を行いました。	20%	第1問の過去問をひたすら解き続け、本番でも同じ思考プロセスでこなせるように対策しました。
日本史 (45)	15%	日本史の参考書で知識を確認しつつ、過去問演習を重点的に行いました。日本史は過去問の演習量がもっとも本番での得点につながる科目だと思います。	25%	10月同様の方針で、秋の東大実戦模試・東大オープン模試に向けて知識確認を続けました。	25%	成績の芳しくなかった秋の東大実戦模試・東大オープン模試の反省を活かしつつ、過去問演習を続けました。	25%	東大日本史とセンター試験日本史Bはあまりコンセプトが共通していないので、二次試験対策ばかりに腐心していた私はセンター試験対策に時間をとられてしまいました。近現代史や文化史の知識をセンター試験対策専門の参考書で詰め込みました。	20%	12月同様知識の詰め込みに追われてしまいました。センター試験対策の3分の1ほどを日本史に割きました。	25%	センター試験ボケ脱却のためにひたすら残っていた過去問を消化し続けました。合計35年分ほどやりました。	25%	これまでに解いた過去問の復習に努めました。また、東進の東大本番レベル模試の過去問も直前期の演習材料として大変有用でした。

センター	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	3 : 7	【センター:二次】	5 : 5	【センター:二次】	8 : 2
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類  
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語(75)	25%	『鉄緑会 東大英単語熟語 鉄壁』(鉄緑会英語科)を、何周かしていましたが、読み進めて単語の補強を行いました。電車に乗っているときや暇なときに読んだほか、長文で分からない単語があれば辞書より先にこちらで調べ単語の復習を行いました。また、2000年以前の古い過去問を『東大の英語25ヶ年』(教学社)で大問ごとく解きました。学校の授業で要約、長文、英作文が扱われ、添削をしてもらえたので、こちらも利用しました。	25%	先月と基本的に同様の勉強を行っていました。過去問については、2周目も行っていましたが、2周目は、繰り返し解く意味がありそうなものということで、文や段落の整序、文法、長文問題に比重を置きました。特に大問4の文法問題については、繰り返し見て類型を掴みました。	20%	この時期には単語帳は流して見るだけになりました。先月までの演習に加えて、宮崎尊先生の東大特進の授業で使われたテキストの自習用部分を読んだり解いたりということを始めました。特に、学校の授業の演習の中で力に不安を感じていた英作文の問題は、宮崎尊先生のテキストで重点的に学習・復習していました。	15%	それまでと同様の演習等に加えて、二次試験に向けたリスニングの対策も始めました。ここでは、宮崎尊先生の『東大前期試験 リスニング対策 実践問題集』(東進ハイスクール 東進衛星予備校)を利用しました。また、新たな演習の教材として『実戦模試演習 東京大学への英語』(全国入試模試センター)で東大模試の過去問も解きました。一方で、センター試験に向けたアクセントの勉強も徐々に手をつけ始めました。	20%	センター試験の前日には時間を図って1年分センター試験の過去問を解きましたが、基本的な英語の力をつけるという意味で、それ以外は基本的に先月同様二次試験に向けての演習を行っていました。読解問題はそちらでカバーしましたが、アクセントや発音は特殊なものなので集中的にカバーしました。基本的には頻出単語や注意すべき単語はピックアップしたもので全ておさえ、それ以外にもアクセントのルールなどは調べて語呂合わせを作って覚えました。また、聞かれやすい熟語もひと通り目を通しました。	20%	6.7年分、近年の東大の過去問を残していたので、それらを時間を測って解くのを始めました。また、東大模試の過去問やリスニングの勉強も今まで同様に進めました。	25%	残っていた過去問や東大模試の過去問を解いていきました。この時期の問題演習は比較的ハイペースだったように思います。過去問は、最後に1年分を残して受験前日に解きました。また、単語帳はこの時期まで手元に置いて必要なときは参照できるようにしておきました。
国語(68)	5%	古文単語や漢文の句形をたまたま確認していた以外は、学校の授業と東大特進の林修先生の授業及びその予習・復習だけで国語の勉強は済ませていました。ほとんど比重を置いていません。	5%	先月と同じです。比重も非常に軽いままでです。	10%	『鉄緑会 東大古典問題集』(角川学芸出版)を用いて古典の過去問を解き始めました。古文と漢文のうちどちらかを1日1問で、時間がある日は両方1問ずつを解きました。復習には、問題を解くと同じくらいの時間を費やし、解答解説を読みました。この時期から国語、特に古典の勉強の比率は上がったように思います。	20%	『センター試験 過去問研究 国語』(教学社)を解き始めました。1日1年分を目安に、2000年以降の分はセットで、それ以前の分は古典だけで解き進めました。古文単語などの知識系統で分からないものがあれば、随時答え合わせと同時に確認していきました。	20%	先月と同じです。センター試験の前日に全て解き終わるようなペースに設定して行きました。直前には、今までの過去問を解いた時に分からなかった知識の確認も再度行いました。	15%	12月の冬休み前と同様の勉強方法で古典の問題を解き進めました。それが終わると、東大模試の過去問を古典の問題のみ解き進めました。	15%	手元に残っていた古典の東大模試の過去問を解きました。現代文は、今までの林修先生の授業のプリントを復習することで、過去問を利用した学習を行いました。
数学(80)	20%	『大学への数学 新数学演習』(東京出版)のなかで難しい問題を解きました。また、Twitterで数学の問題を集めたアカウントをいくつか探し、その問題を解いたりもしました。一方で、過去問は近年のものを除き1周していたため、初めに解いたとき気になっていた問題は再度解き直すようにしました。これらは基本的に1日1問とし、1日に解く問題の量より、問題に触れる頻度を高めるよう心がけました。あまり時間が取れない日は、電車の中でTwitterで見た数学の問題を解いていました。	15%	先月と同じです。『大学への数学 新数学演習』(東京出版)については、解く問題を難しいものだけに限り、余裕がありそうだったため、1度解いた問題の復習もしました。ただし、どのような問題についても、1度解いたら次は間違えないということを中心掛けていました。	10%	基本的にそれまでと変わりません。センター試験が近づいてきたこともあり、得意科目だった数学は勉強の中ではリフレッシュ的な役割を果たしていたように感じます。この時期には学校の予習・復習がメインとなりました。	10%	東大特進で扱われた問題の見直しや学校で扱われた問題の見直しを含め、少ないペースではありましたが、問題演習を続けました。	5%	センター試験は、過去問を1年分のみ学校で扱われた問題をとれたので、それ以外は二次試験に向けた勉強を行っていました。内容は基本的に前の月までと同じです。	10%	『東大の文系数学 25ヶ年』(教学社)に載っていない(つい最近、もしくはあまりに古い)年の過去問をインターネットで探し、時間を計って解きました。また、『東大の文系数学 25ヶ年』(教学社)に載っていて既に解いた問題も、難しいものや詰まった記憶のあるものは再度解き直しました。加えて、1年間に受けた東大模試の問題のうち、気になったものを見直しました。	20%	残っていた近年の過去問や東大模試の過去問を解きました。全て初見のものをセットで解き、1セットごとに採点・見直しを行いました。これらは、2日に1セットほどのペースで行いました。
日本史(42)	30%	東大の日本史の過去問を解き進めるとともに、参考書を使って通史の復習を行いました。参考書は単独で読み進めることに加え、過去問を解いていて分からなかった箇所は参照しました。また、参考書と同時並行で教科書の確認も行いました。	30%	先月と同様の方法で通史、東大の過去問演習を行いました。通史だけでなく、東大の過去問も何周かしました。この時期に2周目に入りました。参考書の方は、おおよそ自分で説明できる程度にこの時期になりました。	35%	センター試験の正誤問題の選択肢をすべてバラバラの○×問題にした冊子を手に入っていたので、これを使って通史の確認を行いました。このような解き方をすることで、消去法により解くということがなくなり力がつきます。バラバラでなく過去問のままの形で解くときも、消去法でなくそれぞれの選択肢の正誤を考えることを意識すると良いと感じました。一方、ペースは落ちましたが二次試験対策の参考書の読み進めと過去問演習も先月同様に行っていました。	30%	先月と同様の方法で通史を復習すると並行して、センター試験の通史の2周目を解き始めました。2周目は、間違えた問題のみ行いました。また、近現代の文化史などは知識が不足していたので、この時期に教科書などを用いて詰め込みを行いました。	35%	センター試験の通史、及びその2周目が終わったので、実際の過去問を解きました。ここでは、本試験も追試験も使いました。また、先月までのような教科書の確認や間違えた問題の見直しは、センター試験直前まで続けました。	30%	センター試験の勉強を始める前のペースに戻り、教科書・参考書と東大の過去問を進めました。東大の過去問は、苦手な時代のものや解きにくいと感じた問題は3周目、4周目も行いました。ただ、3周目や4周目の問題は、解答を書かず頭に構成しただけのものもあります。また、東大模試の過去問も地理とセットで行いました。こちらは1回解き解説を読んだのみですが、解説を読む際には参考書や教科書も使い時間を費やしました。	20%	東大模試の過去問を引き続き解くとともに、この一年間に受けた東大模試の解き直しを行いました。また、これが終わり直前期になると、参考書に重点が移りました。受験直前には参考書だけを見返して復習していました。
地理(39)	20%	『村瀬の地理Bをはじめからいねいに』(系統地理編、地誌編)(東進ブックス)を常に持ち歩いて基礎の復習をしていたほか、東大特進の授業の復習は重点的に行っていました。一方、学校の授業の内容も復習を欠かさないようにしていました。また、学校の授業では他大の過去問やセンター試験の地理Aの過去問が配布されたので、それを用いた学習もしていました。	25%	基本的な内容は先月までと同様の内容でしたが、東大特進の授業の復習の比重は上がりました。テキストの問題の解き直しやノートの見直しを、ゆっくりしたペースでしたがほぼ毎日やっていました。	30%	『東大の地理 25ヶ年』(教学社)を用いて過去問を解き始めました。1日につき大問1つのペースで、2000年以降の問題のみ利用しました。また、冬休みが近づくとセンター試験の過去問も解き始めました。こちらも2000年以降の問題のみで、おおよそ3-4日に1年分のペースで行いました。	25%	センター試験の過去問の頻度を上げ、おおよそ2日に1年分のペースで問題を解きました。古い問題はデータが古く扱いにくいので、その代わりに追試験も積極的に利用しました。また、東大特進の授業の復習は比重をあげ、全てのノートとテキストをいつでも参照できる状態にしていました。前述の『村瀬の地理Bをはじめからいねいに』(東進ブックス)も毎日目を通して行いました。二次試験の過去問はほとんどやらなくなりました。	20%	センター試験の過去問はギリギリに終わるように調節しました。また、東大特進の授業の復習はこの時期に1周頭に入れ終わりました。	25%	一旦休んでいた二次試験の過去問の勉強を再開しました。おおよそ1日1-3問ペースで行ったのに加え、既に解いた問題の復習も行いました。東大特進の授業の復習や『村瀬の地理Bをはじめからいねいに』(東進ブックス)もこれまでと同様に続け、知識を補強しました。さらに直前期には、過去問が終わると東大模試の過去問も行いました。こちらは時間を計り、日本史とのセットで行いました。	20%	模試の過去問を2日に1年分ペースでやり、それが終わると1年間に受けた東大模試の解き直しを行いました。先月までと同様の知識の補強もギリギリまで続けています。

センター	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	3 : 7	【センター：二次】	6 : 4	【センター：二次】	8 : 2
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (61)	15%	基本的に大問別で東大の過去問を解いていました。	20%	10月と同じです。	10%	10月と同じです。	7%	10月と同じです。	8%	10月と同じです。	5%	10月と同じです。	25%	予想以上に出来ない、と焦り、直前に東大本番レベル模試の過去問を何個か解き、本番の形式に慣れるよう努めました。
国語 (77)	25%	夏にある程度古典を集中的にやっていて、この時期は定期的に東大の過去問をじっくり解いていました。古典文法も何回か時間があるときに整理しました。	20%	10月と同じです。	25%	センター試験の現代文を、二次試験も見据えてじっくりやっていました。古典は点数をとれたかったので、古文単語を気合を入れて受験直前までたくさん覚えめました。(600語くらいかと思います)	14%	センター試験の国語の対策をしました。センター試験の古典は、二次試験に向けて実力を落とさないためもあって、かなり昔の年度まで解きました。	20%	残しておいたセンター試験の国語をセットで時間を計って解きました。	30%	東大特進の林修先生の講座を受けながら、それまでの授業で扱った近年の現代文の過去問を解き直しました。古典は自分の解答作成プロセスを精査しました。	20%	現代文、古典の解答プロセスを、問題を解きながら調整しました。
数学 (58)	40%	秋以降は基本的に東大特進の志田晶先生の講座や、東進衛星予備校でとっていた長岡恭史先生の講座をじっくり復習していました。直前までに2回ほど、少し焦って、出来るだけたくさん問題にあたろうと勉強していた時期がありましたが、実りは少なかつたと思います。	45%	『鉄緑会 東大数学問題集』(角川学芸出版)を購入し、過去問を時間を計って解いたあと、じっくり1問1問取り組む、という勉強をしていました。	30%	11月と同じです。	14%	11月と同じです。	10%	数学はある程度得意だったので、センター試験対策はほぼしませんでした。	30%	11月と同じく、『鉄緑会 東大数学問題集』(角川学芸出版)を使用し、過去問を時間を計って解いたあと、じっくり1問1問取り組む、という勉強をしていました。	20%	11月と同じく、『鉄緑会 東大数学問題集』(角川学芸出版)を使用し、過去問を時間を計って解いたあと、じっくり1問1問取り組む、という勉強をしていました。
地理 (49)	10%	ほんの少し、東大の過去問を大問ごとにやりました。どんな感じで問題が出るのか及び自分はどうな感じで問題を解いていこうかを軽く掴んだ程度でした。	5%	学校の、センター試験の問題演習及び解説授業を真面目に受けました。	10%	11月と同じです。	20%	かなりの時間を割いて、地歴ともに教科書を徹底的に読みました。センター試験があるから、というのもあったのですが、二次試験を見据えて、という部分も大きかったです。(という意味での5:5) 地理の教科書はそれほど質が良くなかったと感じたので途中で読むのをやめました。	25%	良問揃いのセンター試験の過去問で、1問でも分からないものがあったらいけないという思いをもって、かなり昔の問題まで解きました。	30%	どうやら地理が得意らしいと思い、追い込みを図りました。東大特進の地理のテキストを夏から全部購入し、授業のノートも入手して、時間を計ってその中の問題を解きながら、どうやって問題とぶつかっていくか考えると同時に、必要な知識を吸収しました。	30%	1月と同じです。
世界史 (42)	10%	私の学習の中心は教科書でした。冬まで教科書を読みつつ流れを整理していました。	10%	10月と同じです。	25%	10月と同じです。	45%	かなりの時間を割いて、地歴ともに教科書を徹底的に読みました。センター試験があるから、というのもあったのですが、二次試験を見据えて、という部分も大きかったです。(という意味での5:5) 世界史は『新世界史B』(山川出版社)を、出てくる単語はもちろん、どういふ流れでどういふことが書いてあるか、ざっくり覚えるくらいまで読み込みました。	37%	基本的には12月と同じです。センター試験の演習も確認としてちょっとやりました。	5%	周りに添削してもらえない人がいなかったのと、差がつきにくいところだろうとも考え、第1問の演習は殆どやりませんでした。世界史で点を取ることは考えていなかったもので、20点～25点くらいでも受かるプランを立て、別の科目をやっていました。	5%	基本的には1月と同じですが、少し比重を増やして教科書を読み直しました。入試本番は直前に読んだところが出るという運に助けられた面が大きかったです。

センター	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1.5 : 8.5	【センター:二次】	5 : 5	【センター:二次】	8 : 2
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (103)	20%	ほとんど学校の授業のみでした。それ以外では東大の過去問を解いていました。	20%	10月と同じく、ほとんど学校の授業のみでした。それ以外では東大の過去問を解いていました。	10%	理科の勉強を始めたため、単語くらいしかやっていませんでした。	10%	ほとんど放置していました。単語は続けていました。	10%	12月と同じく、ほとんど放置していました。単語は続けていました。	20%	リスニングの学習を再開しました。単語の総復習をしました。	20%	過去の東進東大本番レベル模試の問題を解いていました。
国語 (75)	10%	『古文上達』(Z会出版)や『漢文道場』(Z会出版)を解いていました。現代文は東大特進の林修先生の授業の予習・復習のみを行っていました。	10%	10月と同じく、『古文上達』(Z会出版)や『漢文道場』(Z会出版)を解いていました。現代文は東大特進の林修先生の授業の予習・復習のみを行っていました。	10%	センター試験の過去問を始めました。	30%	センター試験の過去問をひたすら解いていました。	30%	12月と同じく、センター試験の過去問をひたすら解いていました。	20%	『東大古典問題集』(角川学芸出版)を5年分くらいまとめて解きました。	20%	過去問の復習のみ行っていました。
数学 (64)	30%	『東大の文系数学25カ年』(教学社)を解いていました。	30%	10月と同じく、『東大の文系数学25カ年』(教学社)を解いていました。	40%	センター試験の問題で時間がなかなか足りず、何度も演習をしていました。	30%	センター試験の過去問演習を続け、少しずつ時間が間に合うようになってきました。	30%	12月と同じく、センター試験の過去問演習を続け、少しずつ時間が間に合うようになっていきました。『東大の文系数学25カ年』(教学社)の問題を1日2題くらい解いて2次試験対策も少し続けていました。	20%	『東大の文系数学25カ年』(教学社)や『新スタンダード演習』(東京出版)・過去のテストゼミなどの復習を行っていました。	20%	過去の東進東大本番レベル模試の問題を解きつつ、過去に解いた問題の復習も行いました。
日本史 (42)	20%	学校の授業が中心で、教科書などを読み込んでいました。	30%	10月と同じく、学校の授業が中心で、教科書などを読み込んでいました。東大の過去問演習も進めていました。	20%	一問一答を始めました。教科書も適宜見て知識の蓄積に努めました。『よくでる日本史B一問一答』(山川出版社)を使っていました。	15%	『よくでる日本史B一問一答』(山川出版社)に加えて、センター試験の過去問も始めました。	15%	12月と同じく、『よくでる日本史B一問一答』(山川出版社)に加えてセンター試験の過去問も始めました。	20%	40年分くらいの過去問をようやく解き終わりました。	20%	過去問の復習と並行して、過去の東進東大本番レベル模試で演習を行っていました。
世界史 (41)	20%	荒巻豊志先生の「東大世界史」の予習・復習を中心に、教科書の読み比べをしていました。僕が使っていたのは山川出版と東京書籍の二冊です。	20%	10月と同じく、荒巻豊志先生の「東大世界史」の予習・復習を中心に、教科書の読み比べをしていました。	20%	ひたすら『世界史B一問一答』(東進ブックス)を進めていました。	15%	日本史と同じく、『世界史B一問一答』(東進ブックス)に加えてセンター試験の過去問を始めました。	15%	12月と同じく、『世界史B一問一答』(東進ブックス)に加えて、センター試験の過去問も始めました。	20%	荒巻豊志先生の「東大世界史」の授業を復習し、気になる問題を解き直していました。	20%	最後の総仕上げとして『世界史B一問一答』(東進ブックス)を行い、過去問も復習していました。

センター	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	5 : 5	【センター:二次】	7 : 3	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (61)	30%	主に要約とリスニングの対策をしていました。要約は、東大模試の過去問を教材に学校の先生に定期的に(3日に1回)添削してもらっていました。リスニングは『灘高キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を使用して1日1題ペースで進めていました。	30%	要約が安定してきたため、英作文の問題演習に移りました。学校の先生に添削をお願いし、一週間に2問のペースで行っていました。リスニングは10月の内容を継続していました。	30%	要約、英作文、小説の分野を過去問で演習しました。『東大の英語25ヶ年』(教学社)を利用していました。	15%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	15%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	20%	東大模試の過去問を3日に1年分のペースで演習しつつ、過去問の見直しも行いました。	15%	東大模試の過去問を3日に1年分のペースで演習しつつ、英単語の確認を行いました。
国語 (67)	5%	あまり比重を置いていませんでした。1週間に古文と漢文の東京大学の過去問を1年分解いていました。使っていた参考書は、『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)です。	5%	10月と同様に古文と漢文の過去問演習を行っていました。	5%	10月と同様に古文、漢文の問題演習を行っていました。	15%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	15%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	10%	古文、漢文の過去問の見直しと古文単語、漢文句法の確認を行いました。	15%	現代文の直近3年分の過去問の見直しを行いました。
数学 (41)	30%	毎日3問ペースで問題演習をしていました。使っていた問題集は『文系数学のプラチカ』(河合出版)と『東大数学で1点でも多くとる方法 文系編』(東京出版)です。	30%	『文系数学のプラチカ』(河合出版)を利用して、東大頻出の分野を集中的に演習しました。それに加えて、過去問を1日1問解き、思考力を鍛えました。	30%	少し比重を減らし、過去問の新規問題の演習を毎日1問ペースで解きつつ、『文系数学のプラチカ』(河合出版)の復習を進めていきました。	15%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	15%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	20%	東大模試の過去問を3日に1年分のペースで演習しつつ、過去問の見直しも行いました。	15%	東大模試の過去問を3日に1年分のペースで演習しつつ、英単語の確認を行いました。加えて、最近の東大の過去問のうちあまり難しい問題の解き直しを行いました。
日本史 (41)	30%	夏の遅れをとりもどすために、近現代の通史の知識を教科書の読み込みと一問一答を通じて定着させました。使っていた参考書は『詳説日本史』(山川出版)『よく出る日本史 一問一答』(山川出版)です。	30%	10月に引き続き、近現代史の知識を増やしつつ、一方で古代、中世を復習してその分野の東京大学の過去問を解きました。	30%	近現代史の勉強を続けながら、論述対策として、東京大学の過去問を1題ずつ解いた後に論点をノートにまとめていました。	30%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。加えて、苦手分野だった近現代の文化史の知識を『よく出る日本史 一問一答』(山川出版)を利用して定着させました。	30%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。加えて苦手分野の近現代史の文化史の問題を演習しました。	25%	過去問演習の遅れを取り戻すために1日1年分のペースで過去問演習をしました。加えて、教科書の読み直しを行いました。	30%	過去問演習の遅れを取り戻すために1日1年分のペースで過去問演習をしました。加えて、教科書の読み直しを行いました。
地理 (40)	5%	学校の授業で知識の確認を行いました。他には特にやっていません。	5%	10月と同様に自分ではあまり勉強していませんでした。	5%	自分ではほとんど勉強していません。	25%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	25%	センター試験の過去問、センター試験予想問題集を2日に1年分のペースで演習しました。	25%	学校の授業に合わせて、東京大学と京都大学の過去問で論述練習をしました。	25%	学校の授業に合わせて、東京大学と京都大学の過去問で論述練習をしました。加えて、自分でも東京大学の過去問を使って過去問演習をしました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	3 : 7	【センター：二次】	9 : 1	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	--------



科 類
文科二類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (64)	30%	二次試験の過去問を、大問ごとに1日1題ずつ解いていました。単語がまだ定着していなかったため、『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を辞書代わりに使用し、分からない単語が出てきたらその都度確認しました。	20%	10月と同じです。	20%	10月とほとんど同じです。2週間に1度のペースで東大の過去問を年度ごとに解き、『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を始めました。	10%	冬休み前と同じです。	10%	センター試験の過去問を3年分ほどとセンター試験型の問題集を解きました。	25%	1週間に1年分のペースで過去問を解き、リスニングは毎日継続しました。	20%	1月と同じです。
国語 (83)	5%	東大特進の講座以外ほとんど対策しませんでした。学校の授業で扱う古文や漢文で古文単語・漢文の句法の確認をしていました。	5%	10月と同じです。『鉄緑会 東大古典問題集』(角川学芸出版)を2週間～3週間に1年分のペースで解き始めました。	10%	11月と同じです。	5%	11月と同じです。	10%	センター試験の過去問を本試・追試ともに6年分解きました。	5%	学校の特講で2000年以降の過去問を解くのと並行して、東大特進の授業の復習をしました。	5%	1月と同じです。
数学 (45)	30%	過去問を週に1題ほど解き、その他は学校の授業の予習課題(基本問題・国公立大の過去問)を解いていました。	25%	10月と同じです。	20%	10月と同じです。	10%	10月と同じです。	15%	センター試験の演習を過去問や問題集で行い、解く時間を確認しました。	15%	過去問を2日～3日に1年分のペースで解きました。	15%	1月と同じです。
日本史 (42)	15%	通史がまだ終わっていなかったため、授業の復習がほとんどでした。	10%	通史が終わり、教科書を再度読み直しました。知識の抜けが多々あったので、一問一答で補充しました。	25%	11月と同じです。	50%	苦手だった近代を中心に教科書を熟読しました。	35%	センター試験の過去問を10年分ほど解き、二次試験も見据えて知識の抜けがないかを確認しました。	25%	過去問をようやく解き始めましたが全く歯が立たなかったため、解説を読んで解答を作成していました。	20%	2月とほとんど同じです。1度自分で解答を作成して、解説を読んだ後に清書をしました。
世界史 (36)	20%	通史がまだ終わっていなかったですが、一問一答で既習分野の復習をしていました。また、論述問題の添削を学校の先生にお願いしていました。	40%	ひたすら教科書熟読と一問一答を継続しました。	25%	11月と同じです。	25%	11月と同じです。	30%	センター試験の過去問を10年分ほど解きました。	30%	学校の特講で過去問を解きました。受験当日までに20年分ほどは解いたと思います。	40%	1月と同じです。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	4 : 6	【センター：二次】	8 : 2
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類  
文科二類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (61)	40%	週に1回東大の過去問を使って演習していました。単語帳や熟語帳を用いて語彙力の増強に努めたり、演習の復習をしていました。夏の東大実戦模試・東大オープン模試の時点で英語の成績が安定していなかったため、冬に入る前のある程度固めることを目標にやっていました(結局本番も安定しませんでした)。	40%	10月と基本的に同じです。秋の東大実戦模試・東大オープン模試の感触が悪く、英語に2学期一杯時間を割くことにしました。	40%	11月と基本的に同じです。	5%	12月の期末試験頃に受けたセンター試験模試の総合得点が悲惨だったため、センター試験の勉強に比重を大きく傾けました。二次試験の英語に割く時間がなくなったため、英語は文法とアクセントのみやっていました。	5%	12月と基本的に同じです。センター試験の過去問を数年分解きました。文法問題は25年分解きました。	35%	朝起きたら単語帳を1周する習慣をつけ、それを受験まで続けました。1日1つ英文文を書いて添削してもらい、要約、長文など単元別に演習を行い対策をたてました。リスニング教材を使って1日大問1つ分をこなしていました。	35%	1月と基本的に同じです。英作文と単語帳は二次試験の当日まで続けました。解く順番は出題パターンに合わせて数種類用意しました。最後の方は教材が尽きたので、東進の東大本番レベル模試の過去問を使っていました。
国語 (74)	5%	古文の単語帳を眺めていました。学校の定期試験の勉強を通じて古文に触れることは触れていたと思いますが、英数中心だったので机に向かってしっかり取り組む事はありませんでした。現代文は、東大特進の林修先生の授業があるときは、受講していました。	5%	英数が酷かったため、やる余裕はありませんでした。10月と基本的に同じです。	5%	11月と基本的に同じです。	5%	古文の単語帳を眺めていました。時折センター試験の古文の物語系の問題を解いていました。センター試験の古文は年によっては難しいので、対策はしておいた方が良いと思います。	5%	12月と基本的には同じです。2014年のセンター試験の国語を解き、自分の国語の底点と知り、時間配分を決めました。	0%	英数世界史に追われたためやっています。センター試験後に高熱を出して東進の東大本番レベル模試を受けられなかったため、体調管理にも気を付けて下さい。	5%	古文の過去問を前日に一気に解きました。慣用句を中心に単語帳を眺めていました。現代文は過去問を何問か残しておいたので、二次試験の数日前に解いて問題慣れしておきました。
数学 (52)	35%	週に1回東大の過去問を使って演習していました。演習の復習を学習の中心に据え、解けない問題は繰り返し解きました。時折東大模試の過去問を解いていました。数学は高3になるまで疎かにしていたので時間を割きました。	40%	10月と基本的に同じです。	40%	11月と基本的に同じです。	50%	センター試験の数学ⅡBを解けないことに気が付いたため、各社のセンター模試、センターの過去問を片っ端から解いていました。	50%	12月と基本的に同じです。	30%	過去問の復習を続け、時折東大模試の過去問も解いていました。計算ミス無くすにはどうすればいいか考えながら解いていました。	25%	1月と基本的に同じです。計算ミスを無くすには2回同じ問題を解けばよいという結論に至りました。
世界史 (40)	10%	英数に時間を割くことを優先しました。世界史は秋の東大実戦模試・東大オープン模試で点を取る予定ではなかったため、論述対策は放置し単語帳を眺めていました。通学時間や学校でのスキマ時間に勉強をしていました。東大の過去問は、東大特進の授業に合わせて取り組んでいましたが、復習はあまりできていませんでした。	10%	秋の東大実戦模試・東大オープン模試は壊滅しましたが、英数中心の学習は変わらず、10月と同じ勉強をしていました。	10%	11月と基本的に同じです。	25%	センター試験模試で悲惨な点数を取ってしまい、単語帳の詰め直しを行いました。センター試験の過去問を1日1年分解き、間違えた箇所の教科書の周辺部分を熟読していました。	25%	12月の学習に加えて、単語→短文記述の暗記カード作成をはじめました。中世までセンター試験前にやっていたことで、センター試験明けの負担が減りました。短文は参考書、教科書からそのまま引用していました。	35%	暗記カード作成を続け、それを1日1周していました。作成が終わったら過去問演習を本格的にはじめ、第2問と第3問は1日数年分解いて解けなかったものは暗記カードに書いて覚えていました。第1問は文章を書くこと自体は問題がなさそうだったので、特別対策を立てたりはしませんでした。	30%	1月と同じです。ひたすら自作の暗記カードを覚えていました。
日本史 (52)	10%	授業を受け参考書に知らなかったことを書きこむ勉強をしていました。単語帳を気分転換に眺めていました。	5%	10月と基本的に同じです。	5%	11月と基本的に同じです。	15%	センター試験模試で悲惨な点数を取ってしまい、単語帳の詰め直しを行いました。センター試験の過去問を1日1年分解き、間違えた箇所の教科書の周辺部分を熟読していました。	15%	点数が上がらなかったため、センター試験向けの参考書を購入し1日1周していました。センター試験の過去問は並行して進めました。	0%	英数世界史に追われたためやっています。	5%	日を決めて1日だけ丸ごと日本史に充てました。過去問100題ほど問題を見る一解答プロットを脳内で作成、わからなかったら解説をみて参考書に書きこむという学習をしました。日本史に割く時間は無かったので、あとは時折論述の基本を眺めていました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	10 : 0	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------

科 類  
文科二類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (62)	40%	東大の長文問題を素早く処理するために、伊藤和夫さんの『ビジュアル英文解釈Ⅰ・Ⅱ』(駿台文庫)を活用して速読力を高めました。また、リスニング対策として、『キムタツの英語リスニング』(アルク)を利用し、耳を英語に慣らすことを意識しました。	50%	10月と同様です。	50%	10月と同様です。	30%	この時期はセンター試験対策に特化した勉強をしようと思い、センター試験の過去問を利用して実戦的な演習を行いました。特に文法問題や発音問題は念入りに解きました。	30%	冬休みと同様です。	40%	東大模試の過去問を大量に集め、それを利用して実戦的な演習や多読を行いました。この時期の勉強用教材として、模試の過去問は非常に役立ちました。東大の過去問を1日1年分解くこともしました。	30%	引き続き、東大模試の過去問や東大の過去問を利用した演習を行いました。また、リスニング対策に割く時間を少し増やしました。
国語 (58)	5%	現代文は林修先生の授業の予習復習以外は特に何もしていませんでした。古典は学校の授業を利用して実戦的な演習を行いました。他の科目に時間を取られたので、国語の学習はそれほど深くできませんでした。	5%	10月と同様です。	5%	10月と同様です。	20%	この時期はセンター試験対策に特化した勉強をしようと思い、センター試験の過去問を利用して実戦的な演習を行いました。現代文は林修先生がおすすめした過去問を、古典は『東大の古典25カ年』(教学社)を利用しました。	20%	冬休みと同様です。	20%	現代文は林修先生の授業を受講していました。古典は『鉄緑会東大古典問題集』(角川芸芸出版)を利用し、点の取れる答案の書き方を学びました。東大模試の過去問を利用することはありませんでした。	20%	1月(センター試験後)と同様です。
数学 (51)	15%	学校の数学の授業のレベルが高かったため、数学の学習は学校の授業を中心として行っていました。	10%	10月と同様です。	10%	この時期から『東大数学で1点でも多く取る方法 文系編』(東京出版)を利用した過去問演習を行うようになりました。	30%	この時期はセンター試験対策に特化した勉強をしようと思い、センター試験の過去問を利用して実戦的な演習を行いました。ただ、センター試験の数学は近年難化傾向にあるため、10年以上前のものはあまりやらなくても良いと思います。	30%	冬休みと同様です。	20%	東大模試の過去問を大量に集め、それを利用して実戦的な演習や多読を行いました。この時期の勉強用教材として、模試の過去問は非常に役立ちました。特に解説をしっかりと読み、東大頻出の解法パターンを頭に馴染ませることが大事だと思います。また、『東大の文系数学25カ年』(教学社)などを利用した過去問演習も行いました。	30%	1月(センター試験後)と同様です。
世界史 (35)	20%	夏までに通史を一通り終わらせ、また東大の過去問の第2問・第3問を25年分解いたため、秋からは通史の2周目に入りました。その際、東京書籍の教科書、山川出版社の教科書、『荒巻の新世界史の見取り図』(東進ブックス)の3冊を利用しました。	15%	10月と同様です。	15%	10月と同様です。	10%	この時期はセンター試験対策に特化した勉強をしようと思い、センター試験の過去問を利用して実戦的な演習を行いました。センター試験の世界史は過去問を焼き直した問題が出題されることが多いため、過去問演習は極めて重要だと思います。	10%	冬休みと同様です。	10%	『世界史論述練習帳new』(バレード)を利用しながら、第1問対策に全力を注ぎ始めました。この本は非常に役立つので、もっと早くから利用しておけばよかったなと思います。	10%	1月(センター試験後)と同様です。
日本史 (50)	20%	夏までに通史を一通り終わらせたため、『日本史講義2 時代の特徴と展開』(駿台文庫)を利用して、東大で頻出の分野に対する理解を深めました。これは本当に良い本なので、早期に触れておくことをお勧めします。また、この時期から過去問演習に取り組み始めました。	20%	10月と同様です。	20%	10月と同様です。	10%	この時期はセンター試験対策に特化した勉強をしようと思い、センター試験の過去問を利用して実戦的な演習を行いました。センター試験の日本史は過去問を焼き直した問題が出題されることが多いため、過去問演習は極めて重要だと思います。	10%	冬休みと同様です。	10%	過去問の復習に専念しました。東大日本史に立ち向かううえで最良の素材はやはり過去問です。「どのような書き方をすれば採点者に伝わりやすいか?」ということを常に意識しながら過去問を利用すると良いと思います。	10%	

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	8 : 2	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	--------



科 類  
文科二類

科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (55)	35%	東進ハイスクールで取っていた、答案練習講座で英作文・要約をひたすら練習し、この予習・受講・復習に終始していました。リスニングは『灘高キムタツの東大英語リスニング(英語の超人になるアルク学参シリーズ)』(アルク)で、単語には『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)で毎日欠かさず手をつけていました。かなり英語が苦手だったのですが、東大実戦模試・東大オープン模試前に過去問を2年分は解きました。	37%	基本的に10月と変わりません。過去問に少しずつ手をつけ出していたと思います。	33%	二次試験の過去問を進めつつ、答案練習講座の再提出をしていました。リスニング・単語は10月から変わらず毎日やっていました。	10%	夏の間にセンター試験の過去問を15年分進めていたのですが、『バックV』(駿台文庫)を解いてやはりセンター試験の英語に不安を感じたので、二次試験の過去問を進めつつ、センター試験の追試を5年分解きました。リスニング・単語は10月から変わらず毎日やっていました。	25%	『2015 東進センター試験本番レベル模試【筆記】』『2014 東進センター試験本番レベル模試【筆記】』(ともに東進ブックス)を解いていました。リスニング・単語は10月から変わらず毎日やっていました。	30%	今まで嫌がって避けてきた英語の二次試験の過去問を本格的に解き始めました。リスニング・単語は10月から変わらず毎日やっていました。	27%	二次試験の過去問を10年分解き終わったので、毎日『東大の英語25カ年[第7版]』(教学社)を使い1985年の問題から遡って要約・英作文・和訳を解いていました。リスニング・単語は10月から変わらず毎日やっていました。
国語 (73)	20%	東進ハイスクールで取っていた答案練習講座で古文・漢文の対策をしていました。この予習・受講・復習に終始していました。二次試験の国語の過去問を試しに3年分ほど解きました。	20%	答案練習講座で古文・漢文の対策をしていました。添削が返ってくるようになってからは、復習をしっかりとやりました。ただ、この時点で自分の古文の語彙と漢文の文法(句法)がめちゃくちゃなことに気付いたので、古文の単語は学校で購入した『実戦トレーニング古文単語600』(中央図書新書)や自分で購入した『二刀流古文単語634』(旺文社)を少しずつ確認し、漢文は『必携新明説漢文—句法と語彙を一緒に学ぶ』(尚文出版)の句法と重要漢字を毎日見ることにしていました。古典の改善に終始していたので、過去問や現代文にはほとんど手をつけられませんでした。	17%	特に11月と変わりありません。	30%	塾の講習を受講して、現代文の対策を少しだけしました。二次試験の過去問を進めつつ、センター試験の過去問を10年分解いていました。	20%	センター試験の追試問題を解いていました。また二次試験の過去問も息抜きで解いていました。	20%	残った二次試験の過去問を解きました。また、センター試験前までに解いていた二次試験の過去問への添削を確認し、間違った事項は紙にまとめておくようにしながら古典を重点的に復習しました。	23%	答案練習講座の解き直しや二次試験の過去問の解き直し、解説授業の受講をしていました。間違った事項は紙にまとめておき、自宅と東進ハイスクールとの行き帰りの間に眺めていました。
数学 (65)	20%	東進ハイスクールで取っていた過去問演習講座を利用して、東大実戦模試前に過去問を4年分解きました。添削された過去問は丁寧に解き直しました。東大実戦の直前からスランプにはまってしまったので、高校数学を始めた頃に使っていた『理解しやすい数学ⅠA』『理解しやすい数学ⅡB』(共にシグマベスト)や、高2の頃に学校で使っていた『フレキシブルⅠ・A・Ⅱ・B』(旺文社)を解き直すところから始めました。	16%	引き続きスランプにはまっていました。『フレキシブルⅠ・A・Ⅱ・B』(旺文社)は楽に解けていたので、もう少し難易度の高い問題を解こうと『1対1対応の演習/数学Ⅰ—大学への数学』『1対1対応の演習/数学A—大学への数学』『1対1対応の演習/数学Ⅱ—大学への数学』『1対1対応の演習/数学B—大学への数学』(全て東京出版)や『スタンダード数学演習1・2・A・B受験編2015』(数研出版)を解いていました。過去問はほとんど進めることが出来ませんでした。	20%	塾で授業を受けている際にスランプを脱した確信が持てたので、再び過去問演習に戻りました。過去問演習講座で5年分進め、分からない問題は学校の先生に質問に行っていました。	20%	センター試験の過去問をひたすら解いていました。時々苦手分野について『東大の文系数学25カ年[第7版]』(教学社)を解いて息抜きをしていました。	15%	冬休みと同様です。	10%	もう一度、二次試験の過去問10年分を解けなかった問題を解き直していました。	14%	過去問で解けなかった問題の解き直しと、『東大の文系数学25カ年[第7版]』(教学社)の苦手分野を解いてきました。また、東進の東大本番レベル模試のバックナンバーを解いていました。
日本史 (45)	20%	学校の通史が10月には終わると聞いていたのに全く終わる気配がなく、慌てて近現代史の通史を『図説 日本史通覧』(帝国書院)や『諸説日本史』(山川出版)を使って自分で行っていました。東大向けの日本史の参考書を使い、二次試験向けの論述を意識した復習を始めました。	20%	引き続き近現代史の通史を『図説 日本史通覧』(帝国書院)や『諸説日本史』(山川出版)を使って自分で行っていました。東大向けの日本史の参考書を使い、二次試験向けの論述を意識した復習を始めました。東進ハイスクールの過去問演習講座を利用して過去問を1、2年分進め、解説授業はちゃんと聞いてノートにまとめていました。	25%	学校で通史も終わって、自分でも何らかし通史を終えていたので過去問を精力的に進めました。過去問演習講座を利用していたので、先にも述べましたが、解説授業はちゃんと聞いてノートにまとめていました。	20%	センター試験の過去問をひたすら解き、間違っている所はノートに書き出し『図説日本史通覧』(帝国書院)や『諸説日本史』(山川出版)で確認しました。二次試験の問題も1、2年分は進めました。	20%	冬休みと大して変わりないです。センター試験10年分を解き終わったのちは、『バックV』『2016 駿台 大学入試センター試験 実戦問題集 日本史B』(ともに駿台文庫)を解いていました。	20%	二次試験の過去問を地理と併せてほぼ毎日解きました。添削が返ってくるたびに時間を費やしました。近代が特に苦手だったので、近代の問題の解説は声を出して読みながらノートに書き写していました。ご飯のときに参考書を読むようにしていました。	22%	1月のセンター試験後とあまり変わりません。
地理 (33)	5%	学校の勉強に終始していました。あまり時間が割けないのは分かっていたので、食事休憩のときに『新編地理資料集』(とうほう)や『データブック オブ・ザ・ワールド』(二宮書店)を読んだり、東進ハイスクールのセンター試験の過去問演習講座の大問別演習で自分が不安に思う分野の問題を解いて『新地理要点ノート』(啓隆社)を見返したりして知識の抜けが無いようこまめに確認していました。過去問は日本史と一緒に解くことも考えて、2、3年分程解きました。	7%	基本的には10月と変わりません。二次試験の問題を日本史と一緒に1、2年分進めたり、『バックV』(駿台文庫)を解いたりして、間違えた問題は『新地理要点ノート』(啓隆社)や『新編地理資料集』(とうほう)を使って確認していました。	5%	日本史・英語・数学の二次試験の過去問をやるので一杯だったので、知識の確認は怠りがちでした。二次試験の過去問も1、2年分進めた程度でした。	20%	センター試験の過去問をひたすら解き、間違っている所はノートに書き出し、『新地理要点ノート』(啓隆社)や『新編地理資料集』(とうほう)を使って確認していました。	20%	冬休みと大して変わりないです。センター試験10年分を解き終わったのちは、『2016 駿台 大学入試センター試験 実戦問題集 地理B』(駿台文庫)を解いていました。	20%	二次試験の過去問を地理と併せてほぼ毎日解きました。添削が返ってくるたびに時間を費やしました。『新地理要点ノート』(啓隆社)や『新編地理資料集』(とうほう)を使って確認していました。ご飯のときに参考書を見るようにしていました。	14%	1月のセンター試験後とあまり変わりません。

センター	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	7 : 3	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
文科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (86)	10%	毎日TEDというアプリを使って、生の英語に触れるようにしていました。長文、英作文は塾(週1回)の教材の予習を演習として利用していました。	10%	同じペースで続けました。	5%	同じペースで続けました。	5%	同じペースで続けました。	5%	リスニング以外の二次試験の対策を一旦やめ、文法の確認をしました。センター試験の前日に、1年前のセンター試験の追試を解きました。	10%	週1で過去問を1年分時間を意識して解きました。リスニング対策は続けました。	10%	同じペースで続けました。
国語 (71)	25%	現代文は東大特進の林修先生の授業とその復習しかしませんでした。古典は『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)で過去問演習を1年分週1で進めました。	25%	同じペースで続けました。	25%	同じペースで続けました。	10%	一旦二次試験の過去問演習をやめ、センター試験の過去問を週1くらいで演習しました。	10%	同じペースで過去問を解いていました。	25%	現代文は学校の先生に添削してもらいました。古典は1回解いた過去問を、知識や解答の作り方を確認するために解き直し、要点を自分なりにまとめました。	25%	1月と同じです。直前には作ったノートを見直しました。
数学 (46)	10%	『東大の文系数学25か年』(教学社)で頻出分野のレベルA、Bの過去問を解いて、パターンを掴むことに徹しました。	10%	同じペースで続けました。	15%	11月にプラスして週1くらいでセンター試験の過去問を時間を意識して解き始めました。	25%	完全にセンター試験対策に切り替え、I A II Bの過去問を交代で毎日解いていました。	25%	同じペースで過去問を解いていました。	10%	一回解いた『東大の文系数学25か年』(教学社)のA、B問題を解き直し、解答パターン、解答の書き方の再確認をしました。	10%	1月と同じです。また、とっておいた1年前の過去問を前日に解いてみました。
世界史 (47)	30%	東大特進の世界史のテキストを復習し、論述の基本的な書き方を確立しました。同時進行で、『書き込み教科書詳説世界史B』(山川出版社)、『世界史B一問一答』(東進ブックス)で知識を確認しました。	30%	10月にプラスして、東大特進の東大世界史の授業を取り、頻出テーマに沿った学習、実際に論述を書く練習を始めました。	30%	同じペースで続けました。	40%	完全にセンター試験対策に切り替え、毎日、傾向が変わらない分の過去問を解き、解説もしっかり読んで、知識の穴がないようにしました。	40%	同じペースで過去問を解いていました。	30%	過去問演習に本格的に取り組み始め、第1問は学校の先生に添削してもらいました。また、『書き込み教科書詳説世界史B』(山川出版社)での知識の確認も同時進行して続けました。	30%	同じペースで続けました。
地理 (38)	25%	東進の東大地理対策のテキストの復習を中心にしていました。また模試の解説を読んだり、抜けていた知識を資料集で確認しました。	25%	10月にプラスして、東大特進の東大地理の授業を取り、実際に論述を書く練習を始めました。	25%	同じペースで続けました。	20%	完全にセンター試験対策に切り替え、10年分くらい過去問を解きました。	20%	一回解いた過去問の復習をしました。	25%	本格的に過去問演習に取り組み始め、学校の先生に添削してもらいました。要点を自分なりにノートにまとめました。	25%	1月と同じです。直前には作ったノートを見直しました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	9 : 1	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	--------



科 類

---

理科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (79)	20%	東大形式の問題にこだわらず、問題集を使った演習をしていました。単語については『鉄緑会東大英単語熟語鉄壁』(角川学芸出版)に毎日目を通すようにしていました。和文英訳の問題を解いていたのですが、これが自分の知らなかった英語表現を獲得するのに役に立ったと思います。また、英作文の模範解答を覚えるということもしていました。	20%	ほぼ10月と同じですが、『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)に飽きてきたので、『DUO3.0』(アイシーピー)を購入して進めていきました。	20%	ほぼ11月と同じ勉強をしていました。	15%	長文は引き続き問題演習をしていましたが、英作文に触れることが減り、代わりに文法問題の確認をしていました。単語については毎日『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)と『DUO3.0』(アイシーピー)の少なくともどちらかを読むようにしていました。	10%	単語の確認とリスニングの練習程度でしか英語には触れていませんでした。センター試験を意識しての勉強というよりは二次試験に向けての勉強をしていました。	20%	センター試験前にほとんどしていなかった英作文の勉強を主にしていました。長文読解やリスニング等も相変わらず対策していましたが、リスニングに関しては問題を解くのではなく英語のラジオを聞いていました。	15%	時間を測って過去問を解いていました。英作文については、和文英訳の問題も含めて学校の先生に添削してもらっていました。
国語 (51)	10%	現代文については、東大特進の林修先生の授業の予習復習しかしていませんでした。古文漢文については、毎日単語帳を読むようにしつつ、週一程度過去問を解いていました。	10%	ほぼ10月と同じ勉強をしていました。	10%	10月の勉強に加えて、時々センター試験の過去問を解いていました。	20%	この時期からセンター試験前は、センター試験の過去問ばかり解いていました。大体1日に1回分のペースで進めていきました。制限時間を10分短くして、速く解けるようになることを意識していました。	20%	左のとおりです。	10%	現代文については2000年以降の過去問を解き直し、林修先生の授業で配られた解答プリントとの比較をして考え方の確認をしていました。古文漢文についても、解いたことがある問題も含めて30分でセットで解くようにしていました。	10%	センター試験後と同じ勉強を引き続きしていました。
数学 (82)	30%	学校で扱う問題の予習復習をしていました。数学ⅠAⅡBと数学Ⅲでそれぞれ週に20問ぐらいのペースで問題を解いていました。	20%	10月とほぼ同じです。秋の模試の出来が夏と比べて余り満足の行くものではなかったので、復習には時間をかけました。	20%	高3になってから使った問題集の問題と解答に一通り目を通していました。それに加えてセンター試験型の問題を数回解きました。	5%	一年の中で最も数学に触れていなかった時期だと思います。他の教科の勉強に飽きたときに少し過去問を解く程度の事しかしていませんでした。この時期にも二次試験の演習を疎かにせずに進めておくべきでした。	10%	センター試験の過去問を数回解きました。本番を想定するという意味でマークシートと鉛筆を使っての練習をしました。二次試験の勉強はしていませんでした。	30%	久しぶりに東大の過去問を解いてみるとあまり手が進まず、結構焦りました。この時期から二次試験直前までで25か年の過去問を一通り解きました。『東大の理系数学25か年』(教学社)のD問題のように、本番では飛ばしても良いような問題についてはあまり深入りせず、解ける問題を確実に解くことを意識して勉強していました。	25%	センター試験後の勉強に加え、『東大数学で1点でも多く取る方法 理系編』(東京出版)を購入し、模範解答を写すという作業をしながら『東大の理系数学25か年』(教学社)の解答と比べていました。同じ問題に対し異なるアプローチをしているケースも多く、また難易度の評価も異なっていたりして興味深かったです。
物理 (47)	20%	夏休みに『名問の森物理』(河合出版)と『物理重要問題集-物理基礎・物理』(数研出版)を一通り解いていましたが、苦手だと感じた分野について何度か解き直しをしていました。これに加えて、東大特進の苑田尚之先生の授業を利用していました。	25%	模試で交流の問題がほとんど解けず、慌てて復習をしました。重大な苦手分野があって模試で失敗すると、模試の後暗い気分になってしまうので苦手分野は模試の前に潰しておいたほうが良いと思います。また、こうしておく模試の後新たな苦手に気づけません。	30%	物理に対して少し苦手意識があったため、問題集を使って演習していました。東大型の問題が解けない、あるいは時間が足りなくなる、というよりは物理的な考え方の定着が不完全だったので、『体系物理』(教学社)を解いたり教科書を読み込みなおしたりしていました。	30%	この時期からセンター試験前は、センター試験の過去問ばかり解いていました。物理についてはセンター試験の過去問をたくさん解いてもあまり効果がなかったように思います。	30%	左のとおりです。	20%	古めの過去問を解きつつ、『名問の森物理』(河合出版)や『物理重要問題集-物理基礎・物理』(数研出版)などの問題で過去につまづいた部分があった問題の確認をしていました。	25%	時間を測って化学とセットで過去問を解くということを繰り返していました。できるだけ速く解き、化学に時間を割けるようになることを目指していました。ただ、本番では物理に時間を取られて化学を満足に解くことができなかったため、もう少し臨機応変に対応できるようになっていればよかったと思います。
化学 (39)	20%	学校で配布された問題を中心に演習しました。これに加えて、やや苦手と感じていた有機化学の分野については、解くスピードを上げることを目標に構造決定の問題を中心に解いていました。	25%	ほぼ10月と同じ勉強をしていました。	20%	東大特進の化学のテキストを一通り確認していました。このぐらいの時期にはある程度二次試験の化学で点を取る自信があったので(本番ではあまり点を取れませんでした)、比較的余裕を持って勉強していました。	30%	この時期からセンター試験にかけては、二次試験の形式の問題を時々解くようにしながらも、主にセンター試験の過去問を解いていました。合計で30回ほど解きました。振り返ると少々やり過ぎだったと思いますが、化学については細かい知識の確認にもなり多少は意味があったと思います。知識的な部分で不足していたことがあった時には、書き出してまとめるようにしていました。	30%	左のとおりです。センターの数日前に不安になって教科書に一通り目を通しました。	20%	学校で問題を配られたのでその問題を解いていました。東大以外の問題がほとんどでしたが、東大で出題されたことがないテーマの問題にも触れることができたため、有意義だったと思います。	25%	時間を測って物理とセットで過去問を解くということを繰り返していました。この練習の中で計算ミスをするが多かったため、本番に向けてミスを減らすことへの意識を高めることができました。

センター	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	9 : 1	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

---

理科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (83)	15%	東進の過去問演習講座を進めました。宮崎尊先生の東大特進英語も受けていました。『システム英単語』(駿台文庫)を電車内で学習していました。	15%	10月と同じです。	10%	東大特進の授業を受けるだけでした。	10%	冬休み前と同じです。	15%	初めの1週間は引き続き二次試験対策をしました。その後センター試験の過去問を7年分解きました。宮崎尊先生のセンター試験の発音アクセント対策教材をやりました。	5%	軽く単語に触れる程度でした。	10%	東大本番レベル模試の過去問を1年分解きました。今までの東大特進の教材やノート、解いた過去問などを見返し、問題を解くコツや使える表現・単語などを拾いました。
国語 (58)	5%	林修先生の東大現代文を受講しました。東進の過去問演習講座で古文・漢文も解きました。	5%	10月と同じです。	5%	11月と同じです。	5%	センター試験の古文・漢文対策として『センター漢文解法マニュアル』(ブックマン社)、『古文単語FORMULA600』(東進ブックス)をやりました。	10%	ひきつづき『センター漢文解法マニュアル』(ブックマン社)、『古文単語FORMULA600』(東進ブックス)を解きました。センター試験の過去問10年分を解きました。	0%	ほとんど何もしてませんでした。	5%	東大本番レベル模試の過去問を1年分解きました。今までの東大特進の教材、解いた過去問などを見返し、解答作成の流れやコツなどを再確認しました。
数学 (79)	30%	東進の過去問演習講座で既に10年分を1周していたので2周目を進めました。1周目でできなかった、正答すべき問題を落とさないよう気をつけました。長岡恭史先生の東大特進数学も受講していました。	25%	10月と同じです。	25%	11月と同じです。	20%	冬休み前と同じです。遅れている理科を優先し数学は少し量を減らしました。	25%	初めの1週間は引き続き二次試験対策をしました。その後センター試験の過去問を5年分と、『大学入試センター試験実戦問題集』(駿台文庫)を一周解きました。時間を計り、本番より5-10分短い時間で解き切れるよう練習しました。	30%	過去問演習講座の2周目が終わりましたが、初見の問題が解けるか不安になったので、『東大の理系数学 25カ年』(教学社)で10年以上前の過去問を5年分解きました。	25%	東大本番レベル模試の過去問を3年分解きました。今までの東大特進数学の問題をもう一度解きました。今までに間違えた問題の解説を見返し、自分の間違えやすい点や問題を解く流れを再確認しました。
物理 (44)	25%	東進の過去問演習講座の1周目を終え2周目をすすめました。1周目でできなかった、正答すべき問題を落とさないよう気をつけました。苑田尚之先生の東大物理も受講していました。問題演習として『新物理入門問題演習』(駿台文庫)も使いました。	25%	10月と同じです。	25%	11月と同じです。	25%	冬休み前と同じです。	25%	初めの1週間は引き続き二次試験対策をしました。その後センター試験の過去問3年分と、『大学入試センター試験実戦問題集』(駿台文庫)を1周解きました。センター試験の基礎的暗記事項を確認しました。	25%	過去問演習講座の2周目が終わり、今までに間違えた過去問をもう一度解きました。	25%	東大本番レベル模試の過去問3年分と東大実戦模試の過去問2年分を解きました。化学と合わせて解いて時間配分の練習をしました。今までの東大特進テキストの問題を全て解きました。解いた過去問や授業ノートも見返し、穴のある分野がないか確認しました。
化学 (31)	25%	東進の「ハイレベル化学」を受講していました。『福間の無機化学の講義』(鎌田の有機化学の講義)(旺文社)を持ち歩いて読みました。	30%	10月の内容に加え東進の過去問演習講座を始めました。	35%	「ハイレベル化学」の受講を終え、「東大化学」を受講し始めました。引き続き『福間の無機化学の講義』(鎌田の有機化学の講義)(旺文社)、過去問演習講座も進めました。	40%	冬休み前と同じです。	25%	初めの1週間は引き続き二次試験対策をしました。その後センター試験の過去問3年分と、『大学入試センター試験実戦問題集』(駿台文庫)を一周解きました。センター試験の基礎的暗記事項を確認しました。	40%	「東大化学」の受講と過去問演習講座を終えました。	35%	東大本番レベル模試の過去問3年分と東大実戦模試の過去問2年分を解きました。物理と合わせて解いて時間配分の練習をしました。今までの東大特進のテキストの問題を全て解きました。解いた過去問や授業ノートを見返し穴埋めを行いました。

さ

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	6 : 4
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-------



科 類
理科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (65)	15%	通学時間などに、過去に解いた教材をつかってリスニングの練習をほぼ毎日していたのと、単語帳での単語の確認が主でした。東大特進の授業も受講していましたが、問題演習をもっと増やしてもよかったと思います。	15%	10月と変わりません。	15%	10月・11月とほぼ変わりません。	15%	秋の学習に加え、夏に使っていた参考書『東大英語の総合的研究』(旺文社)でまだ手を付けていなかった部分に取り組みしていました。	15%	二次試験対策が中心だったと思いますが、センター試験の過去問も数年分解きました。	15%	二次試験対策に戻って、ようやく二次試験の過去問を解き始めました。採点・添削には東進の過去問演習講座を活用し、7、8年前のものから順にほぼ毎日ひたすら解いていきました(ほかの科目も同様です)。	15%	引き続き二次試験の過去問演習とその復習を行っていました。過去問演習が終わった後は、以前の東大特進の教材や『東大英語の総合的研究』(旺文社)で各大問の解法や重要な単語・文法の再確認をしました。
国語 (40)	10%	現代文は東大特進の林修先生の授業のみ、古文・漢文は通学途中などに単語帳で単語を覚える程度のことしかしていませんでした。	10%	10月とほぼ同じですが、この時期からセンター試験の対策を意識し始めました。	15%	10月・11月とほぼ変わりません。	20%	他の科目に先立ってセンター試験の過去問を数年分解き始めました。	35%	時間内にすべて解き切ることを目標に、センター試験の過去問を4、5年分解いていました。	15%	二次試験の過去問演習を始めました。この時まであまり力を入れていなかった古文・漢文の問題演習とその復習が主でした。	15%	引き続き二次試験の過去問演習とその復習を繰り返していました。現代文についても過去の東大特進の教材を使いながら答案の構成の仕方を確認していました。
数学 (58)	30%	学校の授業が二次試験対策を兼ねた演習形式だったので、その予復習を主にしていました。その他、時間のある時などは『新数学演習』(東京出版)を使って問題演習をしていました。	30%	左に同じです。	30%	秋とほぼ同じでしたが、加えて二次試験の過去問1～2年分を6問1セットで時間を計りながら解いてみました。	25%	秋にしていたこととほぼ同じです。	15%	基本は秋からの二次試験対策の勉強が中心でしたが、センター試験の数日前からはセンター試験の過去問2,3年分を演習し、時間内に確実に解き切れるようにしました。	20%	二次試験の過去問の演習を再開しました。すでに秋ごろに解いたことのある問題もあったのですが、本番と同様に限られた時間内に正確に解くことを心がけていました。	20%	1月末から引き続き二次試験の過去問演習とその復習の繰り返しでした。
物理 (36)	20%	基本的には、夏まで使っていた『難問題の系統とその解き方』(ニュートンプレス)の未着手の演習問題を継続して解いていました(最後までは終わらなかったのですが…)。それに加えて、東大特進の苑田尚之先生の授業で対策を始めました。	20%	10月とほぼ同じです。	20%	10月とほぼ同じです。	25%	秋までとほぼ変わりませんが、この時期は特に、東大特進の授業を活用して電磁気分野の不十分な点を再確認しました。	20%	数学と同様、二次試験対策を主にしながら、センター試験の過去問数年分の演習を行いました。ただ、若干苦手意識があったので少し多めに解くようにしました。	25%	他の科目と同様に、二次試験の過去問を解き始めました。化学と合わせてセットで時間配分も意識しながら演習をしていました。	25%	左とほぼ同じですが、解けなかった問題は問題集や東大特進のノートで解法や要点を確認してもう一度解くなどして復習・フォローをしっかりと行いました。
化学 (38)	25%	学校の授業が演習形式だったので、その予習・復習を中心に行っていました。それ以外のことに取り組んでいる余裕はそれほどなかったと思います。	25%	10月にしていたことに加え、夏ごろに学校で配布された問題集での演習もしていました。	20%	11月とほとんど同じです。	15%	11月とほとんど同じです。	15%	二次試験対策を続けるのと同時に、センター試験の過去問も2年分ほど解き、特に、暗記事項は過去のノートなどを見ながらその都度整理していました。	25%	物理と合わせてセットの状態、二次試験の過去問を解き始めました。	25%	物理とほぼ同じですが、化学では特に計算でミスしないことと知識問題で確実に正答することを特に意識して復習を徹底しました。

センター	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	4 : 6	【センター：二次】	8 : 2
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

---

**理科一類**

※12月(冬休み)と1月(センター試験前)は、残り35%をセンター試験の社会にあてました

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	※5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	※5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (77)	15%	東進の過去問演習講座や学校で配られた問題に取り組み、実践的な演習に取り組んでいました。単語、熟語の強化のために、東進衛星予備校の高速基礎マスター講座や『データベース5500 合格英単語熟語』(桐原書店)に取り組んでいました。	15%	概ね10月と一緒です。東進の過去問演習講座に取り組みつつ、学校の授業プリントに取り組み本番に近い形の演習に入っていました。東進衛星予備校の高速基礎マスター講座などで単語や文法の強化に取り組んでいました。	10%	学校のテストがあったので、試験勉強として単語を覚えてゆき、語彙力をアップしていききました。『データベース5500 合格英単語熟語』(桐原書店)の単語帳を作り、基礎レベルの英単語で不安がないようにしていききました。	10%	センター試験対策として、発音アクセント対策(学校で配布されたプリントを使って)を中心に行っていました。また、長文を読むスピードを落とさないように定期的に英語の長文に触れるようにしてました。また、単語は東進衛星予備校の高速基礎マスター講座でセンター試験に出やすい単語や熟語を勉強しました。二次試験対策として、過去問演習講座も少し取り組みました。	10%	センター試験対策として、発音アクセント対策(学校で配布されたプリントを使って)や単語や熟語の勉強(東進衛星予備校の高速基礎マスター講座を使って)をしました。センター試験の過去問にも取り組み、実践練習も増やしていききました。	15%	勉強の仕方を冬休み前のように戻し、東進衛星予備校の高速基礎マスターによる単語力のアップや過去問演習講座での実践的な演習を積みました。学校の授業がなくなり、英語の授業がなくなったので英語に長期のブランクができないようにしようと心掛けました。	20%	過去問演習講座の残りや東進の東大本番レベル模試の過去問で最終調整を行いました。東大特進で購入した、宮崎尊先生の『東大前期試験リスニング対策実戦問題集』をもう少し定期的に取り組むべきだったと今となっては思います。
国語 (43)	10%	東進の過去問演習講座に取り組んだり、学校で配られた問題に取り組んだりと実践的な演習をしていました。また、その都度知らない単語や熟語を強化していききました。使用した問題集は『イメージで覚える 完成古文単語321』(尚文出版)です。現代文は東大特進の林修先生の授業で使った問題の予習復習が主な勉強でした。もう少し古文単語や熟語を集中して強化しても良かったかもしれないと思います。	10%	過去問演習講座、学校のプリントで演習をしていました。10月と同様に『イメージで覚える 完成古文単語321』(尚文出版)や東進衛星予備校の高速基礎マスター講座を単語熟語強化に用いました。現代文は東大特進の林修先生の授業などで対策をしていました。	10%	学校のテスト勉強や過去問演習講座で暗記事項を固めていききました。東進衛星予備校の高速基礎マスター講座を使って、古文単語の力もつけました。	25%	過去問演習講座に取り組みました。古文では『イメージで覚える 完成古文単語321』(尚文出版)や東進衛星予備校の高速基礎マスター講座を単語熟語強化に用いました。漢文に関しては文章に出てきた知らなかった単語や忘れていた句法を『漢文必携』(桐原書店)を用いて復習しました。	35%	センター試験の過去問に取り組みつづ、『イメージで覚える 完成古文単語321』(尚文出版)や東進衛星予備校の高速基礎マスター講座、『漢文必携』(桐原書店)を中心に復習しました。	10%	過去問演習講座での実践的な演習を行い、記述力の回復を図りました。	20%	過去問演習講座の残りや東進の東大本番レベル模試の過去問で最終調整を行いました。
数学 (72)	25%	東進の過去問演習講座や学校の授業で配られた問題(難関国公立や私立の過去問が中心)に加え、友人と一緒に『東大の理系数学 25カ年』(教学社)に取り組みました。	25%	過去問演習講座や学校で配られた問題に加えて、友人と一緒に『東大の理系数学 25カ年』(教学社)に取り組みました。	30%	過去問演習講座や学校で配られた問題に加えて、友人と一緒に『東大の理系数学 25カ年』(教学社)を解いたり、学校のテストなどで二次試験対策の演習を積みました。	10%	過去問演習講座に取り組んでいたのみでした。センター試験対策は、データの分析の暗記事項の確認以外特に行っていませんでした。	5%	国語や社会に時間を割いていたため、あまり勉強時間を割けませんでした。数年分のセンター試験の過去問は取り組みました。	25%	過去問演習講座や『東大の理系数学 25カ年』(教学社)で演習形式の勉強をしていました。	20%	過去問演習講座の残りや東進の東大本番レベル模試の過去問で最終調整を行いました。
物理 (32)	25%	東進の過去問演習講座に取り組みつづ、友人と一緒に『東大の物理 25カ年』(教学社)に取り組んでいました。また時間がある時は『難問題の系統とその解き方 物理 I・II』(ニュートンプレス)に取り組みました。分からないことがあれば、東進衛星予備校で以前受講していた苑田尚之先生の「ハイレベル物理」のノートで復習しました。	25%	概ね10月と同じです。東進の過去問演習講座に取り組みつづ、友人と一緒に『東大の物理 25カ年』(教学社)に取り組み、演習を積んでいました。時間があるときは『難問題の系統とその解き方 物理 I・II』(ニュートンプレス)をやっていました。	25%	東進の過去問演習講座や『東大の物理 25カ年』(教学社)に取り組み、学校の定期試験対策として『難問題の系統とその解き方 物理 I・II』(ニュートンプレス)の定期試験の範囲の箇所に取り組んでいました。	10%	過去問演習講座で二次試験対策をしていました。センター試験対策は特に行いませんでした。	5%	国語や社会に重点的に取り組んでいたためあまり時間を割きませんでした。数年分のセンター試験の過去問のみ取り組みました。	25%	過去問演習講座や『東大の物理 25カ年』(教学社)で演習形式の勉強をしていました。センターボケを解消するために『難問題の系統とその解き方 物理 I・II』(ニュートンプレス)の中から何問かピックアップして解いていました。	20%	過去問演習講座の残りや東進の東大本番レベル模試の過去問で最終調整を行いました。
化学 (49)	25%	他の科目同様に、東進の過去問演習講座を受講していました。また、学校で配られた問題(難関国公立の過去問がメインと思われる)に取り組んでいました。夏休みに『重要問題集』(数研出版)を一周しかけておらず、やや知識が曖昧な部分があったのでその確認にもう少し時間を割いても良かったかもしれないと今では思います。	25%	10月と同じように東進の過去問演習講座や学校で配られたプリントで演習を積んでいました。知識のことで不安が出てくると学校の授業プリント(教科書レベルと思われる)で復習をしていました。	25%	東進の過去問演習講座や学校の試験対策(学校で配られたプリントの復習)に取り組みました。	10%	過去問演習講座で二次試験対策を行いつつ、センター試験で狙われやすい暗記事項(無機分野の物質の色や有機分野の高分子の暗記事項)を『センター総合化学』(啓林館)で確認してました。	10%	数年分のセンター試験の過去問と『センター総合化学』(啓林館)を使った暗記事項の確認に取り組みました。	25%	過去問演習講座や『東大の化学 25カ年』(教学社)で演習形式の勉強をしていました。	20%	過去問演習講座の残りや東進の東大本番レベル模試の過去問で最終調整を行いました。

センター	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	6 : 4	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類  
理科二類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (76)	10%	『英語長文問題精講』(旺文社)と『トップダウン式ニュース英語』(DHC)のリスニングを毎日やっていました。さらに東大の過去問を使って英作文の訓練をしました。基本的に英語には時間を割きませんでした。	10%	東大の過去問を使った演習を始めました。時間を短めに設定して時間短縮を意識しました。大体110分に設定しました。	10%	英作文に力を入れるようにしました。学校の先生に添削を頼んでいました。英作文は大体2題で15分を目標にしていました。	10%	センター試験が近づいてきたこともあり、『英熟語ターゲット1000』(旺文社)を使って熟語の確認をしました。	10%	毎日長文を読みながら、単語と熟語の確認をしました。センター試験に向けて勉強するというよりは、英語の力を落とさないようにする感じでした。	15%	基本的には過去問を使った演習ですが、『鉄緑会 東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を使って単語と熟語の補強もしました。リスニングに不安があったので、宮崎尊先生の『東大前期試験リスニング対策実戦問題集』という東進のテキスト付属のCDを毎日聴きました。	15%	1月と同じです。
国語 (34)	10%	東大の過去問を使って演習していました。国語で高得点を狙っていなかったため、時間はあまりかけませんでした。ただし、古典くらいはしっかりやっておけば良かったと思います。	10%	10月と同じです。	10%	10月と同じです。	10%	10月と同じです。	20%	センター試験を意識して、古文単語と句法の確認をしました。時間を短縮してセンター試験の過去問を解きました。	10%	林修先生の東大特進の授業のテキストの見直しと古典の復習をしました。理科に時間をかけたかったため、国語はあまり時間を使いませんでした。	10%	1月と同じです。
数学 (60)	20%	『新数学演習』(東京出版)を使って演習していました。時間がなかったため確率、微分積分、複素数に範囲を絞ってやっていました。	20%	東大の過去問を使って演習しました。行列など範囲外の分野を含む年度は自分でセットを組んで演習していました。年度にもよりますが、3完を目標にしていました。	20%	11月同様に東大の過去問を使って演習していました。『東大数学で一点でも多く取る方法』(東京出版)も並行してやっていました。	20%	『一対一対応数学』(東京出版)、『新数学スタンダード演習』(東京出版)、『やさしい理系数学』(河合出版)など、一度解いたことがある問題集で出来なかった分野の復習をしていました。	15%	12月に引き続き問題集の復習をしていました。不安だったのでセンター試験対策に計算の練習もしました。	20%	東大模試の過去問題集を使って演習し、時間配分の練習をしました。使用済みの問題集の復習は12月に終わっていたので、この時期から東大の過去問の復習を始めました。	20%	過去問と『東大数学で一点でも多く取る方法』(東京出版)で最終確認しつつ、部分点の取り方を模索していました。
物理 (45)	20%	『難問題の系統とその解き方』(ニュートンプレス)を中心に演習していました。演習問題は難易度が高すぎると判断したので例題だけやっていました。分からなくなったらノートを振り返るようにしていました。	20%	『難問題の系統とその解き方』(ニュートンプレス)と東大の過去問を使って演習していました。この頃から時間を意識して演習しました。	30%	引き続き東大の過去問を使って演習しつつ、分からないところは原理に戻るようにしました。原子分野に関して理解が甘いところがあったので、その復習もしました。	30%	今まで解いた問題集を中心に時間を計って演習しました。この時期からは新しい問題を解くというよりも解いたことのある問題の理解を深める方が良いと思います。	20%	基本的には東大の過去問を使った演習ですが、センター試験では知識を問われる問題もあるのでその確認もしました。	25%	東大模試の過去問題集を使って演習しました。時間を短めに設定して演習することで取捨選択が出来るようになりました。	25%	東大の過去問を中心に出来なかった問題でセットを組んで演習しました。過去問を使って演習することで基本事項の最終確認にもなりました。
化学 (43)	40%	有機分野の高分子が未習だったので、高分子を中心に学習していました。理論、無機分野は『化学の新演習』(三省堂)を使って学習していました。	40%	有機分野の演習量が不足していたので、『重要問題集』(数研出版)や『化学の新演習』(三省堂)で演習していました。この頃から東大の過去問に手をつけ始めました。	30%	東大の過去問を使ってひたすら演習していました。時間を計りながら演習を積むことで速く解けるようになったと思います。	30%	引き続き東大の過去問を使って演習していましたが、センター試験対策も兼ねてテキストの見直しをしました。	35%	センター試験対策と二次試験の第2問対策として無機、有機分野の知識の確認をしました。	30%	東大模試の過去問題集を使って演習しました。物理とセットで130分を目安に解きました。それと並行して、記述対策に理論分野の見直しをしました。	30%	東大の過去問を使って苦手の分野の見直しをしました。東大では何年か毎に似た内容が問われることが多いので、過去問の見直しは効果的だと思います。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	8 : 2
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

---

理科二類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (62)	30%	塾のテキストを利用してました。また、毎日通学で利用する電車の中では『鉄緑会英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)のCDをできるだけ聞くようにしていました。1日長文1題は読むように心がけていました。	30%	秋の東大実戦模試・東大オープン模試を視野に入れて単語や熟語を再確認していました。熟語に関しては学校で配られた『スクランブル英文法・語法第3版(大学受験スクランブル英文法・語法)』(旺文社)と『鉄緑会英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を併用して詰め込みました。	20%	時間をしっかりと計って東大の過去問を中心に演習を重ねていました。『東大の英語25年[第7版]』(教学社)を利用してました。英作文など自分では採点しづらい部分は先生に採点してもらい、毎回点数を確認していました。	20%	あまりセンター試験を意識せず、私立大学の過去問を含めた二次試験形式の問題を解いていました。	20%	センター試験の過去問を解きつつ二次試験形式の長文も読むようにしていました。アクセントや文法などの基本事項で誤った部分はノートにまとめていました。またアクセントなどの基本事項については『スクランブル英文法・語法』(旺文社)を改めて見直していました。	30%	時間をしっかりと計って『東大の英語25年[第7版]』(教学社)を解いていました。文章を丁寧に読むことを意識して解いていました。	25%	『東京大学への英語 2016—実戦模試演習』(駿台文庫)を利用して演習を行いました。時間を調整して行っていました。
国語 (42)	5%	学校で配られた古文の単語帳を学校の定期テストのタイミングに合わせて読んでいました。古文の単語帳は『読んで覚える重要古文単語315』(桐原書店)を用いていました。この時期は基本的に国語には触れていませんでした。	5%	10月と変わらず引き続き古文の単語帳を眺めていました。秋の東大実戦模試・東大オープン模試の直前であっても、長文を徐々に読み直すという意味で東大の過去問の古典を1年分やる程度でした。	5%	センター試験へ意識が移り始める時期ではありましたが、やはり古文の単語帳を読む程度のことしか行っていませんでした。	10%	センター試験を意識し始めて、改めて古文漢文の文法の確認や古文単語の確認を行っていました。この時期からセンター試験の過去問演習に取り組み始めました。	15%	毎日センター試験の過去問を解いていました。最新のものを順に追試を含めて15年近く解いていました。この時期には二次試験の勉強を全くやっていませんでした。	5%	現代文は東大特進の林修先生の講座を3回分一気に受講し、センター試験で少し衰えてしまった記述力を取り戻していました。古典は『2016年度用 鉄緑会東大古典問題集 資料・問題編/解答編 2006—2015』(角川学芸出版)を週1のペースで解いていました。	5%	現代文は今までの林修先生の講座で添削された答案を見直しつつ、今までの問題を解き直して行っていました。古典は1月と同様に『2016年度用 鉄緑会東大古典問題集 資料・問題編/解答編 2006—2015』(角川学芸出版)を週1のペースで解いて行っていました。
数学 (52)	35%	塾のテキストを利用してました。夏の東大実戦模試・東大オープン模試で気が付いた自分の弱点(計算ミスと典型問題の知識不足)を補うように意識しながら勉強していました。	35%	間違った問題のみを集めたノートを作成してました。新しい問題と一度解いた問題の比率を1:1にして復習に力をかけていました。	30%	『東大の理系数学25年[第7版]』(教学社)を使って単元ごとにできるだけ昔の問題を利用して行きました。センター試験が近付くと、二次試験型のものでありできなくなると分かっていたので、この時期は特に数学の二次試験形式の問題を重視してやっていました。	25%	センター試験を一応意識してはいましたが、私立大学の過去問を中心に二次試験形式の問題を解いていました。	25%	毎週「センター試験満点マラソン」というものをやっていました。同じ年のIA II Bで満点がとれるまで解き続けるというものです。二次試験の問題も手が空けばやるようにはしていました。	30%	センター試験ボケしていたので過去、間違えた二次試験形式の問題を中心に解き直して行きました。私立大学の過去問を中心に時間を計って演習を始めました。	25%	『2016年度用 鉄緑会東大数学問題集 資料・問題編/解答編 2006-2015』(角川学芸出版)を利用して直近の過去問演習を行っていました。新しい問題より、昔解けなかった問題の解き直しを重視して行っていました。
化学 (38)	20%	『新 理系の化学問題100選<新装版>』(駿台文庫)の演習をひたすら行っていました。また、週に1度のペースで東京大学の過去問を理科2科目150分という実践形式で解いていました。出来るだけ新しい問題を使わないように古書店で昔の『東大の化学25年[第4版]』(教学社)を購入して昔の問題から選んで解いていました。	20%	10月と変わらずひたすら演習をしていました。秋の東大実戦模試・東大オープン模試の直前に東進ハイスクールの『ハイレベル化学』の教材を解いて無機や有機の知識の再確認をしていました。	30%	センター試験にも二次試験にもつながるということで暗記項目の再確認を行っていました。また慣れていったのもあって演習や過去問のペースをあげていました。また『東京大学への理科 2016—実戦模試演習』(駿台文庫)や『入試攻略問題集東京大学理科 2016』(河合出版)も利用して問題を解くスピードを上げて行きました。	25%	暗記項目を東進ハイスクールの『ハイレベル化学』の教材で確認しつつ、『新 理系の化学問題100選<新装版>』(駿台文庫)で間違えた問題の解き直しを行っていました。	20%	二次試験にもつながるということもあって暗記項目をひたすら確認して行きました。センター試験の過去問は新課程用のものがあまりなかったため、あまりやっていません。	20%	最新の過去問を利用して演習を行って行きました。演習を重ねるごとにベストな時間配分をつかんでいったように思えます。	25%	『新 理系の化学問題100選<新装版>』(駿台文庫)と過去問で間違えた問題の解き直しをひたすら行っていました。
生物 (34)	10%	生物の教科書の精読を、ひたすら理解することを重点的に行い疑問点はすぐにメモしていました。教科書は学校で配られた東京書籍のものを利用してました。化学と同様に実践形式で東大の過去問に週1のペースで触れていました。利用していたのは『東大の生物25年[第3版]』(教学社)です。	10%	10月と変わらず教科書を読みつつ過去問を解いていました。秋の東大実戦模試・東大オープン模試の直前には時間を150分から130分にするなどして、問題の取捨選択の徹底を図っていました。	15%	変わらず教科書を精読していましたが、化学と同じく暗記を意識し始めていました。また過去問のペースもあげて行きました。化学と同じく『東京大学への理科 2016—実戦模試演習』(駿台文庫)や『入試攻略問題集東京大学理科 2016』(河合出版)を利用して行きました。	20%	理解することに重点を置いていた精読を、センター試験に向けて暗記中心に変えました。今までの東大特進のテキストも読み返し、必要事項は全て教科書に書き込んで行きました。	20%	化学と同じく二次試験にもつながる暗記項目をひたすら確認して行きました。センター試験の過去問はあまり解いていません。	15%	記述力を取り戻すために、最新の東大の過去問を利用して演習を行っていました。	20%	センター試験であまり暗記していなかった生物基礎の範囲を中心に暗記項目の再確認を行っていました。また今まで解いた過去問で間違えた部分の解き直しも行っていました。

センター	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	6 : 4	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類  
理科二類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (85)	5%	東進の過去問演習講座を受講し過去問を解き始めました。最新の2年分は直前期に残しておいてその前にさかのぼって解きました。英語は好きだったので他の科目が嫌になった時に解いていました。時間を取られると思ったので解説授業はあまり見ませんでした。『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)をすきま時間に読んでいました。リスニングはたまにやる程度でした。ストーリーの面白いものを聴いていました。	5%	ほぼ10月と同じです。東大模試の後には復習をしました。過去問や模試を通して知らなかった単語やイディオムに出会ったらメモしておきました。	5%	ほぼ10月と同じです。	5%	ほぼ10月と変わりありませんでしたが、冬休みに入って時間が出来たので過去問を解くペースもあがった気がします。	5%	センター試験模試で間違えるのは大体発音かアクセントだったのでそこに不安を感じ、直前は発音とアクセントのまとめのようなプリントをよく見ていました。単語帳は引き続き毎日読んでいました。	10%	過去問演習を再開しました。	5%	過去問10年分は解き終わり、ある程度のところまで行ったと思ったので他の科目に時間を割きましたが、単語帳は毎日取り組んで最低限の英語には触れるようにしました。試験直前には、リスニングをしながら単語・イディオムのメモを見直していました。
国語 (46)	5%	現代文は基本東大特進の林修先生の授業のみでした。古文は古文単語帳を進めて週1回チェックしてもらっていました。漢文も漢文用語集を週20個くらい進めてチェックしてもらっていました。句法集は自分で進めていました。最終的には何周もした気がします。	5%	10月の内容に加えて、過去問演習を始めました。現代文は授業で1度扱ったものがほとんどだったので古典を重点的にやりました。過去問演習を通して、解答にどこまで書けばいいかの感覚を身に付けました。	5%	ほぼ11月と同じです。	5%	ほぼ11月と同じです。冬期集中講座の林修先生の現代文を受講した後は、頭の使い方を理解しきるまで復習しました。	5%	センター試験に向けて、出題されそうだけど自分がど忘れしそうな漢字を思いつくだけメモしておきました。他は古典の単語を確認するくらいでした。	5%	過去問演習を再開しました。	5%	前日には今までの現代文の授業ノートやプリントを見直し、頭の使い方を確認しました。
数学 (40)	20%	過去問演習の数学を始めました。数学が本当に苦手だったので復習メインで、解説授業をフル活用しました。また、自分には絶対解けないと思った問題は諦めて他の科目に時間を割くようにしました。東大特進でとっていなかった東大特進数学テストゼミをt-podでまとめてとり、進めました。	30%	ほぼ10月と同じです。模試の後はその復習をしました。	30%	ほぼ10月と同じです。	30%	過去問演習のペースをあげました。引き続き解説授業はしっかりと受けていました。	30%	今までのセンター試験模試で間違えた部分を見直してどうして間違えたかの分析をし、忘れがちな公式や考え方をメモしておきました。	25%	過去問演習を再開しました。あまり伸びが見込めなかったので最低限とりたいところを重点的にやり、本番でも出来ないだろうと思ったところは軽く解答解説を読む程度にしました。	30%	10年分の過去問演習を終えたのもう一度間違えたところを解き直しました。試験の直前は忘れがちな公式を書いておいたメモを見ていました。
物理 (33)	35%	過去問演習講座の物理を解き始めました。3年分くらいは時間を気にせず納得いくまで解きました。苑田尚之先生の解説授業はとてためになると思ったのでほぼ全て見ました。	30%	過去問演習でも時間を気にするようになり、化学とセットで解いていました。過去問演習講座を通して自分なりの解答の書き方(配置)を確立しました。東大模試の後には復習をしました。	30%	ほぼ11月と同じです。	30%	ほぼ11月と同じです。冬期集中講座の東大物理を受けた後は、本番で出題されても解けるように復習をしっかりとしました。	30%	二次試験では出題されないようなセンター試験特有の問題に対処できるように、センター試験対応の問題集を解きました。	30%	過去問演習を再開しました。スピードをつけることを意識して出来るだけ速く解いていました。過去問演習講座は提出すると添削してもらえるのですが、そのコメントを励みにしていました。赤ペンで褒めてもらえるとても嬉しかったです。物理化学の点数が相当伸びてきました。	30%	10年分過去問を解いたので間違えたところをもう一度見直しました。試験直前は公式集のようなものを見ていました。本番は焦ってしまって不本意な点数になってしまったので、演習の段階でもっと緊張感を持ってやれば良かったと思いました。
化学 (44)	35%	過去問演習講座の化学を始めました。苦手だと判明した範囲はその都度基本の問題集に戻ったり東大特進のテキストを見直したりしました。	30%	物理と同じです。	30%	ほぼ11月と同じです。	30%	ほぼ11月と同じです。冬期集中講座の東大化学はt-podで受講したので理解しきるまで見直しました。	30%	センター試験はセンター試験特有の問題が出題され、そのような問題を間違えやすかったため、今までのセンター試験模試で間違えたところ、難しかったところを解き直しました。毎回のセンター試験模試でそのような問題にマーカーを引いておいたのが役に立ちました。	30%	物理とほぼ同じです。	30%	10年分過去問を解いたので間違えたところをもう一度見直しました。試験直前は東大特進のテキストを見直していました。

センター	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 4	【センター:二次】	4 : 6	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (90)	40%	この時期はまだ読むことに重点を置いて勉強をしていました。単語力が不足していると感じたので『キクタン』(アルク)をやって抜けがないようにしていました。	45%	この時期は読むことに重点を置きながらも、リスニングとライティングも徐々に対策するようにしました。具体的には学校の例文集を覚えたり、ニュース英語を聞いたりするようにしていました。	30%	11月と基本的には同じです。ただこの時期からは演習材料として過去問を使うようにしていました。	25%	センター試験にける時間がかなり多くなる中、苦手だった英語はこの時期でもある程度の演習は積むよう心がけていました。やっている内容は11月と変わりません。	15%	センター試験が若干怖かったので、失点しやすい文法、発音、アクセントなどを勉強していました。	40%	読むことにはかなりの自信をつけたため、とにかくリスニング対策をしていました。1日に2時間ほど時間をかけていました。また英作文はセンター試験前に覚えた表現を用いて論理的な英文が書けるよう、書く練習及び添削をしてもらいました。	40%	やはりリスニングに重点を置きながらも、英作文にも表現の確認など多くの時間をかけました。最後は時間配分の確認も数回しました。
国語 (31)	0%	東大特進の林修先生の授業以外何も対策していませんでした。	0%	10月と同じです。	20%	本格的にセンター試験の勉強を始めました。今までほとんど勉強したことがなかったので、基本的な文法や単語、句法から始めました。	50%	とにかく知識を増やしながらかつて過去問の演習も始めました。1日で現代文・古典の通しを1年分、古典だけを1年分やりました。	70%	基本的には冬休み中とやっていたことは変わりません。復習にも重点を置くようにしました。	10%	古典の過去問を『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)を使って丁寧に演習し、現代文は林修先生の授業の復習をしました。	0%	古典の知識の確認を直前期にした以外は特に対策していません。
数学 (90)	30%	夏に時間を計った過去問の演習を終わらせていました。さらに演習に時間をかけたかったので、週末に東大模試の過去問を解いていました。また、平日の時間のあるときには『新数学スタンダード演習』(東京出版)や『新数学演習』(東京出版)を使って問題演習をしていました。	30%	10月と同じです。	30%	基本的には10,11月と変わりませんが、徐々に過去問などの復習にける時間が全体として多くなっていき、数学にける時間が少なくなってしまいました。	15%	過去問で解けなかった問題の復習をしていました。やはり以前解けなかった問題ということもあって、この時期でも一問一問にはかなりの時間を使いました。	10%	センター試験対策はほとんどしませんでした。代わりに積分の問題などを解き続け、計算力の維持を図りました。使用した問題集は『数学Ⅲスタンダード演習』(東京出版)などです。	40%	残しておいた長岡先生のテストゼミを受講して、センター試験期間中に時間を割けなかった分の演習量を確保しました。他にもとにかく時間を計りながらの問題演習に一番時間を使いました。具体的に使用した問題集は『月刊大学への数学』(東京出版)の学カコンテストや大数模試といった記事を時間を計りながら演習しました。	40%	夏休みに残しておいた直近5年間分の過去問を時間を計って解きました。他には今までやってきた問題集の総復習をしました。特に計算ミスに注意しながら答えを合わせることを意識した演習をしていました。
物理 (50)	25%	物理は多少不安があったので、『新物理入門問題演習』(駿台文庫)や特に苦手な分野は『重要問題集』(数研出版)などを解きました。時間の取れる週末には化学とセットで150分の演習をしました。夏休みに過去問は解き終わっていたので、150分の演習には、東大模試の過去問を用いました。	20%	だいたい10月と同じですが、時間があるときは苦手な分野に取り組んだり、問題数が少ない原子の範囲に関しては、京都大学の過去問などを解いていました。	20%	11月と同じです。	10%	解けなかった過去問の復習をしました。解答をどのように書くかも意識しながら復習しました。	0%	直前にセンター試験の過去問を数年分演習しました。	10%	過去問や東大模試の過去問を中心に、今までやってきたことを復習しました。新しいことに触れるというよりは、自分がこれまでやってきたことの復習をすることに重点をおきました。公式の導出の仕方の確認もこの時期にもう一度することで、かなりの自信を持つことができました。	10%	センター試験後と基本的には変わりませんが、化学とセットでとって直近5年分ほどの過去問を演習しました。
化学 (45)	5%	物理とセットで時間を計った演習以外、何も対策していませんでした。物理と同様東大の過去問は解き終わっていたので、東大模試の過去問を用いました。	5%	10月と同じですが、秋の東大実戦模試・東大オープン模試の前に有機、無機の範囲は知識の確認をしました。	0%	あまり時間をかけられなかったです。	0%	あまり時間をかけられなかったです。	5%	細かい知識の確認と、正答率の低いセンター試験の過去問を学校でもらったのでそれだけやりました。	0%	あまり時間がかけられませんでした。	10%	細かい知識の確認に加え、大切に使用していた『新理系の化学問題100選』(駿台文庫)の復習をしました。また物理とセットでとって直近5年分ほどの過去問を演習しました。

センター	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	5 : 5	【センター：二次】	8 : 2	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (93)	25%	毎日CNNのニュースを集めた雑誌とその付録のCDを使ってリスニングの練習をしていました。英語は問題別での演習を積んでいました。過去問は演習に時々使うだけでセットとしては解いていませんでした。	25%	10月とほぼ同じです。	25%	10月とほぼ同じです。	20%	演習・リスニングともに10月とほぼ変わりません。	15%	二次試験対策に関しては日頃の勉強法は10月と変わりません。過去問は週に1回か2回のペースで解いていました。センター試験対策はセンター試験直前に発音・アクセントの確認をした程度です。	20%	過去問は2日に1回のペースでやっていました。友達と相互採点することを強く勧めます。	25%	1月後半と同じです。
国語 (48)	5%	古文の問題を週に一度程度行い、あとは毎日古文単語や漢文の句型の暗記、復習をするのみでした。現代文は林修先生の講義だけでした。	5%	10月とほぼ同じです。	10%	10月とほぼ同じです。	35%	センター試験対策を始めました。ペースで言えば1日に少なくとも1年分は解いていました。(1年で本試・追試の2つあり、20年前のものからやっていきました。)	55%	二次試験対策はほとんどしていませんが、センター試験の過去問を解けば二次試験対策にもなると思います。センター試験の過去問は1日に3年分か4年分解いていました。	20%	過去問は2日に1回のペースでやっていました。友達と相互採点することを強く勧めます。	25%	古文・漢文の過去問演習を集中的にやりました。これも友達と一緒に相互採点するのが良いでしょう。『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)が解説が丁寧で非常に良いです。
数学 (100)	25%	週に一度は6問150分の演習をしていました。二次試験の過去問は30年分はあったので、後に残しつつも10月終わりまでに数年分こなしていたと思います。行列範囲は飛ばしていました。	25%	10月とほぼ同じです。11月にも二次試験の過去問は2,3年分解きました。	25%	10月とほぼ同じです。冬休み前には二次試験の過去問は週に一度のペースで解きました。	15%	11月とほぼ同じです。センター試験対策は全くしていませんでした。	10%	二次試験の過去問を週に2年分ぐらい解いていた以外は11月とほぼ同じです。センター試験対策は全くしていませんでした。	20%	過去問を2日に1回～1日に1回のペースでやっていました。150分という時間をいかに使うかの感覚を養うのが良いでしょう。	20%	1月後半と同じです。
物理 (53)	25%	『難問題の系統とその解き方物理』(ニュートンプレス)の例題の演習、復習を中心に勉強していました。過去問は残しておくために10月終わりまでに1年分ぐらいしか解きませんでした。	25%	10月とほぼ同じです。11月にも過去問は2,3年分解きました。	25%	10月とほぼ同じです。冬休み前には過去問は週に一度のペースで解きました。	20%	11月とほぼ同じです。センター試験対策は全くしていませんでした。	10%	二次試験の過去問を週に2年分ぐらい解いていた以外は11月とほぼ同じです。センター試験対策は全くしていませんでした。	20%	過去問を2日に1回～1日に1回のペースでやっていました。常に時間配分を気にしながら解くのが良いでしょう。	15%	1月後半と同じです。
化学 (45)	20%	『新理系の化学問題100選』(駿台文庫)などを使って週に数回演習をしていました。化学には自信があったので演習量は少なめでした。過去問は10月終わりまでに1年分解きました。	20%	10月とほぼ同じです。11月にも過去問は2,3年分解きました。	15%	10月とほぼ同じです。冬休み前には過去問は週に一度のペースで解きました。	10%	11月とほぼ同じです。センター試験対策は全くしていませんでした。	10%	二次試験の過去問を週に2年分ぐらい解いていた以外は11月とほぼ同じです。センター試験対策は全くしていませんでした。	20%	物理に同じです。	15%	1月後半と同じです。

センター	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	3 : 7	【センター:二次】	8 : 2
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (72)	20%	東大の問題形式に慣れるべく9月頃から過去問を分野ごとに解き進めており、それを続けました。このとき、時間よりも正確さを重視していました。単語や文法にまだ抜けが多かったので、それぞれ『鉄壁』(角川学芸出版)と『Vintage』(いっずな書店)で勉強しました。	20%	左と同じです。	20%	左と同じです。また、秋の東大模試の反省もふまえて英語の時間配分を確定させ、その時間通りに解くようにしました。	15%	左と同じです。	15%	12月までにしていたことに加えて、リスニングと英作文の対策を始めました。リスニングは『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を使い、英作文は学校の先生に添削をお願いしました。センター試験の勉強は特にしませんでした。	15%	センター試験後のために直近の過去問を6年分残しておいたので、それを解きました。リスニングと英作文の勉強も続けました。	15%	左と同じです。
国語 (50)	5%	現代文は、東大特進の林修先生の授業を受けました。古文と漢文はほとんど勉強していません。	5%	左と同じです。	5%	左と同じです。	10%	センター試験の過去問を少しずつ解き始めました。(結果的に、11年分解きました。)また、古文単語と句法を詰め込みました。	15%	左と同じです。	10%	現代文は東大特進の林修先生の授業を受けました。また、林修先生の授業の、2009年以降の過去問のプリントを一通り見返しました。古典は『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)を買いましたが、結局4.5年分くらいしか解けませんでした。	10%	左と同じです。
数学 (98)	20%	『鉄緑会東大数学問題集』(角川学芸出版)を使って、二週間に一回くらいのペースで過去問演習をしました。	20%	左と同じです。	20%	左と同じです。	25%	冬休みに入って自由に勉強できる時間が増えたので、過去問演習のペースが週に一回くらいに伸びました。	20%	左と同じです。過去問を10年分くらい解いたところで、東大模試の過去問題集を買いました。ただ、東大の問題と違う問題も多いと感じたので、あまり得意でなかった積分の問題だけ解きました。センター試験の対策は特にしませんでした。	25%	センター試験後のために直近の過去問を6年分残しておいたので、それを解きました。	25%	左と同じです。
物理 (49)	25%	電磁気や原子分野に未習部分があったので、教科書を読み進め、『セミナー物理』(第一学習社)を解いて理解を深めました。また、『重要問題集』(数研出版)や『名問の森』(河合出版)を使って問題演習を積み重ねました。	25%	10月と同じく、『重要問題集』(数研出版)や『名問の森』(河合出版)を使って問題演習を積み重ねました。また『東大の物理 25カ年』(教学社)を使って過去問演習もしました。時間配分の練習にもなるようにするため、過去問演習の時は、化学と一緒に解くようにしていました。	25%	左と同じです。『鉄緑会東大物理問題集』(角川学芸出版)を見つけたので、以後それを使いました。	25%	左と同じです。	25%	左と同じです。センター試験の対策は特にしませんでした。	25%	センター試験後のために直近の過去問を6年分残しておいたので、それを解きました。	25%	左と同じです。
化学 (42)	30%	高分子がまだ終わっていませんでしたので、教科書や資料集を読んだり、『センサー化学』(新興出版社啓林館)を解いたりしました。また、『重要問題集』(数研出版)や『化学の新演習』(三省堂)を使って問題演習を積み重ねました。	30%	10月と同じく、『重要問題集』(数研出版)や『化学の新演習』(三省堂)を使って問題演習を積み重ねました。また、『鉄緑会東大化学問題集』(角川学芸出版)を使って過去問演習もしました。	30%	左と同じです。	25%	左と同じです。	25%	左と同じです。過去問が古くなっていくにつれ、問題の量が少なくなってきて時間配分の練習には使えないと感じたので、東大模試の過去問題集を買いました。センター試験の対策は特にしませんでした。	25%	センター試験後のために直近の過去問を6年分残しておいたので、それを解きました。	25%	左と同じです。

センター	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	4 : 6
------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------



科 類  
理科三類

二次科目	5科目に対する学習割合	10月	5科目に対する学習割合	11月	5科目に対する学習割合	12月 (～冬休み前)	5科目に対する学習割合	12月 (冬休み)	5科目に対する学習割合	1月 (センター試験前)	5科目に対する学習割合	1月 (センター試験後)	5科目に対する学習割合	2月
英語(77)	50%	単語の知識が足りなかったため『鉄緑会英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)勉強していました。1日に長文を1題は読み、二次試験の全ての大問の形式の問題を毎日時間を意識して解くことを心がけていました。	50%	秋の東大実戦模試・東大オープンを視野に入れ、単語や熟語を再確認していました。熟語に関しては学校で配られた『Vintage』(いいずな書店)と『鉄壁』(角川学芸出版)を併用して詰めました。二次試験型の問題を時間配分に注意しながら演習していました。	50%	時間をしっかりと計って東大の過去問を中心に演習を重ねていました。この時期は時間を短縮できる和訳に力を入れ、『東大の英語25カ年[第7版]』(教学社)を利用していました。英作文など自分では採点しづらい部分は先生に採点してもらい、毎回点数を確認していました。	50%	二次試験型を中心にしていますが、センター試験の過去問も解いていました。ここで、自分の実力にあったレベルの問題(センター試験)をはじめから使うべきだったと反省しました。	50%	センター試験の過去問を解きつつ、二次試験形式の長文も一日一題読むようにしていました。アクセントや文法などの基本事項で誤った部分はノートにまとめていました。	50%	時間をしっかりと計って東大の過去問25カ年を解いていました。文章を丁寧に読むことを心がけました。東大の過去問25カ年は、自分で二次試験型のセットを作り解いていました。	50%	東進の東大本番レベル模試の過去問や、東大の過去問の二周目などを実践形式で時間帯も合わせて解いていました。
国語(51)	2%	学校で配られた古文の単語帳を寝る前に10分ほど読んでいました。古文の単語帳は『読んで見て覚える重要古文単語315』(桐原書店)を行っていました。この時期はそれ以外は国語に触れていませんでした。	2%	引き続き古文の単語帳を短時間で集中して読んでいました。一週間に一回のペースで古文・漢文の東大の過去問を1年分解いていました。	2%	二次試験型、センター試験型の古文・漢文を2、3日に一度のペースで解きました。個々に出てきた単語や重要表現も貪欲に吸収しました。	8%	センター試験型の国語を時間を計って解いていましたが一向に点があがらず、つらかったです。	8%	引き続き単語を吸収しつつセンター試験型の問題を解いていました。焦るあまり多めに解きましたが成果は出ず、少し後悔しました。	8%	現代文は東大特進の林修先生の講座を復習し、センター試験対策ばかりで少し衰えてしまった記述力を取り戻して行っていました。古文・漢文は二次試験型の問題を2日に一回解きました。	8%	現代文は林修先生の授業の見直しはかまいませんでした。古文・漢文は毎日一年分過去問を解きました。
数学(81)	12%	学校の先生オリジナルのテキストや塾のテキストを利用して行っていました。夏の東大実戦模試・東大オープン模試や、日頃問題を解く中で気が付いた自分の弱点を補うように意識しながら勉強していました。	12%	間違った問題の要点をまとめたノートを作成しました。新しい問題も一度解いた問題も両方、復習に力をかけて行っていました。	12%	『東大の理系数学25カ年[第7版]』(教学社)を使って150分のセットを作り、演習していました。センター試験は一週間に一度、本番より20分短い時間設定で解いていました。	10%	『東大の理系数学25カ年[第7版]』(教学社)を使って150分のセットを作り、演習していました。東大模試の過去問題集も活用しました。センター試験は一週間に一度、本番より20分短い時間設定で解いていました。	10%	センター試験型の問題をメインで解きましたが、二次試験型を一日に1、2問は解き、勘を鈍らせすぎないようにしました。	10%	しばらくセンター試験対策をメインで行っていたため、二次試験の勘が鈍っていたので、東大の過去問で間違えた問題を中心に解き直して行きました。二次試験型の問題を150分で解いてもセンター前より劣り心配になると思ったので、復習に徹しました。	10%	二次試験型の問題を150分でひたすら解き込みました。東進の東大本番レベル模試の過去問や、東大の過去問の二周目などを実践形式で時間帯も合わせて解いていました。
生物(46)	18%	生物の教科書を精読し、ひたすら理解することを重点的に行い疑問点はすぐにメモしていました。教科書は学校で配られた東京書籍のものを利用して行っていました。化学と同様に実践形式で東大の過去問を解きました。	18%	引き続き知識は貪欲に蓄えつつ、化学とセットでの実戦演習に力を注ぎました。時間配分や問題の取捨選択も意識しました。	18%	同様に知識は貪欲に蓄えつつ、化学とセットでの実戦演習に力を注ぎました。時間配分や問題の取捨選択だけでなく、減点されない答案作成も意識しました。	16%	教科書と田部真哉先生のハイレベル生物のテキストを復習し、知識の確実な定着を図りました。様々な問題を集めて化学とのセットを作り、演習していました。	16%	センター試験の範囲であるが、二次試験では出ない進化などの手薄な範囲を中心に知識を定着させて行きました。センター試験型はあまり対策しませんでした。二次試験型は一日に1問程度解いて行きました。	16%	記述力を取り戻すために『東大の生物25カ年[第3版]』(教学社)を利用してまだ解いていない東大の過去問を解いたり、模試の過去問を解いたりしましたが、二次試験型は一日に1問程度解いて行きました。	16%	東進の東大本番レベル模試の過去問や、東大の過去問の二周目などを化学とセットで実践形式で時間帯も合わせて解いて行きました。復習により力をいれ、減点されない答案づくりを心がけました。
化学(45)	18%	センター試験にも二次試験にもつながるということで暗記項目の再確認を行っていました。演習や過去問も時間を計って解き込みました。	18%	生物とセットで150分で時間を計り、とにかく解き込みました。自分で高3春からつくっていた全範囲の知識のまとめノートを定期的に見直しました。	18%	同様に生物とセットで150分で時間を計り、とにかく解き込みました。自分で高3春からつくっていた全範囲の知識のまとめノートを定期的に見直しました。また模試などの復習もやりこみました。	16%	様々な問題を集めて生物とのセットを作り、演習していました。週一回、センター試験型の化学を本番の半分の時間(30分)で解きました。	16%	センター試験型と二次試験型を1:1の配分で、時間を計って解きました。オリジナルの知識のまとめノートを大いに利用できました。	16%	生物化学は数学ほどなまらなかつたので、生物とセットで二次試験型150分の演習をこなしました。東大模試の過去問を解いたり、東大の過去問の二周目を解きました。	16%	東進の東大本番レベル模試の過去問や、東大の過去問の二周目などを生物とセットで実践形式で時間帯も合わせて解いて行きました。復習により力をいれ、減点されない答案作りを心がけました。直前は自信をつけるために一度解いた過去問を解きました。

センター	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	5 : 5	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (95)	25%	週1回東大形式の問題を演習していました。この頃には完成していました。単語もたまに見ていました。	25%	先月と同じです。	25%	先月と同じです。	20%	先月と同じです。	15%	あまり時間をかけられなかったので、リスニングだけ毎日するようにしました。	20%	過去問をひたすら解きました。	20%	先月と同じです。ひたすら過去問を解きました。やって良かったと思います。
国語 (47)	0%	対策しませんでした。	0%	対策しませんでした。	0%	対策しませんでした。	20%	センター試験の過去問を始めました。	40%	センター試験の過去問を解きました。センター試験の国語は過去問を解いて、間違えた問題の分析をすることで、点数が上がっていきます。	20%	過去問をひたすら解きました。	20%	先月と同じです。ひたすら過去問を解きました。楽しかったですが、あまり意味はなかったようです。
数学 (100)	25%	週1回東大形式の問題を演習していました。この頃には完成していました。	25%	先月と同じです。	25%	先月と同じです。	20%	先月と同じです。	15%	センター試験の形式に慣れておくために、2,3年分センター試験の過去問を解きました。	20%	過去問をひたすら解きました。	20%	先月と同じです。結構サクサク解けたので、楽しかったです。
物理 (53)	25%	週1回東大形式の問題を演習していました。今思えば、この時期はもう少し自分の弱点分析と、その克服のための問題演習に時間を使えば良かったと思います。	25%	先月と同じです。	25%	先月と同じです。	20%	先月と同じです。	15%	センター試験の形式に慣れておくために、2,3年分センター試験の過去問を解きました。	20%	過去問をひたすら解きました。	20%	先月と同じです。時間が余ったので、東大模試の過去問題集を解きました。東進の東大本番レベル模試の過去問も解きました。もう少し、量より質を重視すれば良かったと思います。
化学 (37)	25%	週1回東大形式の問題を演習していました。今思えば、この時期はもう少し自分の弱点分析と、その克服のための問題演習に時間を使えば良かったと思います。	25%	先月と同じです。	25%	先月と同じです。	20%	先月と同じです。	15%	センター試験の形式に慣れておくために、2,3年分センター試験の過去問を解きました。	20%	過去問をひたすら解きました。	20%	先月と同じです。時間が余ったので、東大模試の過去問題集を解きました。東進の東大本番レベル模試の過去問も解きました。もう少し、量より質を重視すれば良かったと思います。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------



科 類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (87)	10%	週に1回、塾で東大の問題を解き、英語力が落ちないようにしていました。	10%	10月と同じです。後半からは、熟語の復習を始めました。	10%	10月と同じです。	40%	学校で配られた文法の問題集を何周かやり直ししながら、文法事項を復習しました。	30%	センター試験の過去問の文法問題のみ、10年分程解きました。	15%	語彙力不足を感じていたため、『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)をやり始めました。要約と英作文については、過去問を解き、信頼できる先生に添削をお願いしていました。長文については、読解力が落ちないように、定期的に過去問を解くようにしていました。	20%	1月に引き続き、要約と英作文の添削指導を受けていました。苦手だった要約は、これに加え、解いた過去問の文章を自分なりに分析していました。入試直前にはリスニングの過去問を3年分解きました。
国語 (41)	5%	学校で配られた単語帳で、古文単語を復習していました。	10%	10月と同じです。後半からは、古文・漢文の基礎的な文法知識の見直しも始めました。	25%	センター試験対策として、古文・漢文の基礎的な文法知識を見直し始めました。また、問題演習として東大の古典の過去問を3年分解きました。	40%	『センター必勝マニュアル』(東京出版)を使って、細かい文法事項をインプットしました。また、センター試験の過去問を、時間を計って10年分ほど解きました。	40%	センター試験の過去問を7年分ほど解きました。	0%	特に何もしていませんでした。	5%	現代文は、東大特進の直前対策コースを受講して、最後の確認をしました。古文・漢文は、入試直前に古典の過去問を1年分解きました。
数学 (91)	40%	東大の過去問を1年ずつセットで、週1のペースで解いていました。また、分野別対策として、『解法の探究・確率』(東京出版)、『解法の探究・微積分』(東京出版)や、問題を解く力が衰えないように『ハイレベル理系数学』(河合出版)などの問題集を解いていました。	30%	引き続き、東大の過去問を1年ずつセットで、週1のペースで解いていました。	20%	11月と同じです。	10%	東大特進の冬期集中講座の東大数学の予復習をしました。	10%	形式に慣れておくため、センター試験の過去問を3年分解きました。問題を解く力が衰えないよう、『ハイレベル理系数学』(河合出版)の問題を時折解いていました。	25%	まだ解いていなかった年度の東大の過去問を解いていきました。	35%	過去問を解き切ってしまったからは、東大模試の過去問題集を解いていました。また、苦手意識があった複素数の範囲の問題演習をしました。
物理 (45)	20%	東大の過去問を化学とセットで、週1のペースで解いていました。	25%	10月と同じです。	20%	10月と同じです。	5%	特に何もしていませんでした。	10%	センター試験対策として、センター試験の過去問を2年分解きました。	30%	まだ残っていた東大の過去問を解くと同時に、問題を解く力が衰えていないか心配だったので、『理論物理の道標』(河合出版)で気になった問題をピックアップして解いていました。特に原子物理の範囲は重点的に演習していました。	20%	東大の過去問を解き切ってしまったからは、東大模試の過去問題集を化学とセットで解いていました。
化学 (43)	25%	東大の過去問を物理とセットで、週1のペースで解いていました。	25%	10月と同じです。	25%	引き続き、東大の過去問を物理とセットで、週1のペースで解いていました。少し難しめの問題を解いておきたかったため、『新理系の化学問題100選』(駿台文庫)を解き始めました。	5%	特に何もしていませんでした。	10%	知識の穴を埋めるために『化学の新研究』(三省堂)を丁寧に一読しました。また、学校で配られた、センター試験で正答率が低かった問題を集めた問題集を解きました。	30%	まだ残っていた東大の過去問を解くと同時に、センター試験前にやりかけていた問題集を解き切りました。	20%	東大の過去問を解き切ってしまったからは、東大模試の過去問題集を物理とセットで解いていました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	3 : 7	【センター：二次】	9.5 : 0.5	【センター：二次】	9.5 : 0.5
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-----------	-----------	-----------